

2024年度  
十二月定時總會資料  
公益社団法人 会津青年会議所



2024年12月27日（金） 19:30～

会津青年会議所会館

# 目次

2024年度公益社団法人会津青年会議所事業報告	2
2024年度公益社団法人会津青年会議所組織図	3
2024年度スローガン 並びに 事業計画	4
理事長 及び 三役所感	8
2024年度 諸会議・行事報告	13
1. 総会	14
2. 理事会	15
3. 定例会	18
4. 各種会議・行事報告	19
2024年度 事業報告	21
5. 事業・委員会報告	
(イ) 事務局	25
(ウ) 総務委員会	29
(エ) ひと・まち委員会	33
6. 外部団体出向者名簿	37
7. 出向者報告	38
8. 特別委員会報告	43
9. 備品明細	51
10. 2024年度 会計決算報告	53
(ア) 2024年度 社団法人会津青年会議所 一般会計決算書	54
(イ) 正味財産増減計算書	55
(ウ) 正味財産増減計算書 内訳表	58
(エ) 正味財産増減計算書 事業別内訳表 (特別会計内訳)	60
(オ) 貸借対照表	62
(カ) 財産目録	64
(キ) 決算書類に対する注記	65
11. 監査報告書	68
2025年度公益社団法人会津青年会議所 事業計画書	69
2025年度 公益社団法人 会津青年会議所 組織図	70
2025年度 公益社団法人 会津青年会議所 理事長所信	71
2025年度 公益社団法人 会津青年会議所 各委員会 基本方針	
1. (ア) 事務局	75
(イ) 総務委員会	76
(ウ) ひと・まち委員会	77
2. 特別委員会	78
2025年度 公益社団法人 会津青年会議所 会計予算	
1. 2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 一般会計予算書	79
2. 正味財産増減計算書	81
3. 正味財産増減計算書 内訳表	84
4. 正味財産増減計算書 事業別内訳表 (特別会計内訳)	86

公益社団法人 会津青年会議所

2024年度 事業報告書

自 2023年12月 1日

至 2024年11月30日

# 2024年度 組織図



(公社)日本青年会議所	
(公社)日本青年会議所 東北地区協議会	東北国際ゼミナール特別委員会 副委員長 遠藤 和輝
東北青年フォーラム運営委員会 委員 若林 信一	
(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会	監査担当役員 林 陵平
アカデミー委員会	副委員長 星 辰典
組織連携推進会議	委員 星 直範
福島の未来創造委員会	委員 松村 俊祐
ブロック大会実行委員会	委員 清水 広太
総務広報委員会	委員 田中 厚
	委員 鈴木 亮平

委員会名	事務局員	ひと・まち委員会
委員長	鈴木 亮平 大里 正樹	遠藤 和輝 星 直範
副委員長	堺野 美将 長谷川 孝洋 下平 常貴 高崎 慎也 根本 翔(サ)	添田 将 大竹 史森(サ) 一重 草冬 菅家 成哲 吉田 木道 高橋 義人
委員	事務局員 梅宮 美香	

※(サ)はサポーター会員

## 理事長所信

第68代理事長 松本 和也

### 【はじめに】

会津青年会議所（以下、JCI会津）は昭和26年に志高き31名の青年により全国で24番目、そして福島県内では初めての青年会議所として設立されました。JCI会津は、明るい豊かな社会の実現に向かい、地域の未来のために運動・活動を展開し、本年73年目を迎えます。

JAYCEEの最大の目的である、明るい豊かな社会の実現の捉え方はさまざまであると考えます。私が考える明るい豊かな社会とは、地域の人々が自発的かつ能動的に社会問題に取り組み、解決できる社会であると考えます。

産業の発展によりデジタル技術、人工知能（AI）が発展を遂げています。そして、昨今の新型コロナウイルス感染拡大に起因し、各技術が社会に浸透し、私たちにとって身近なものになってきています。このことにより、従来当たり前だと思っていた社会の常識は大きく変わり、時代は新たなステージに進み始めました。今まさに誰もが想像しなかった新しい世界が開かれたことで、問題も浮き彫りになっています。このような時代の中で、私たち青年経済人は、デジタル技術、人工知能（AI）では実現できない価値を持った存在となり、率先して各種団体、地域住民を巻き込み、私たちの地域をより豊かにする責務を負っていると考えます。

JCI会津はこのような責務を負った20歳から40歳までが所属する組織であるとともに、先輩方がそれぞれの時代に寄り添いながら次々と現れる社会問題に対し解決を試み、常に新しい挑戦をしてきた伝統ある組織です。この組織の強みを会員に再認識させ地域を巻き込めるリーダーとなれる人財を1人でも多く輩出し、地域により良い変化をもたらすことを目標に、本年1年間活動してまいります。

### 【自己を成長させ、仲間を増やし育もう】

これからの時代に求められるのはどのような人財でしょうか。

人工知能（AI）の急速な発展及び浸透が予想されるこれからの時代においては、今まで人間が行った際に生じたエラーが生じず、完璧な事務手続きが実現される可能性すらあります。もっとも、社会がこのように変わっていったとしても、社会をより良くする運動を創っていくのは人です。なぜならば、人の決定は人工知能（AI）にはない、人の心に訴えかける発想や価値により決まり、この要素こそが他の組織や地域住民を巻き込むことができるものであるためです。そして、思いや考えは、適切に他者に伝えてこそ価値があるものとなります。JCI会津は、地域の問題を率先して解決する組織として、相手の心に響く思いや考えを持ち、適切に伝えることができる人財を育成する組織になる必要があります。そして、JCI会津で研鑽を積んだ人財が、自らの思いや考えを他者に伝え、伝播することにより、より良い変化が社会に起こるものと確信しています。

また、J C I 会津が相手の心に響く思いや考えを持ち適切に伝える人財を育成する組織になれば、各会員が組織の魅力を発信することが可能になり、我々の運動・活動に共感する仲間を増やすことができます。その上、仲間が増えれば、組織内での意見交換が活発になり、より良い循環が生まれることで、さらに大きな影響力を持った組織へと成長することができます。

私は、他人の心に響く思いや考えを適切に伝え、人を動かし巻き込むことができる人財を育成することが会員拡大及び社会課題解決のために不可欠な要素であると考えます。

### 【会津の未来のために】

我々の住む会津地域には多くの地域資源が存在します。しかしながら、それらに気づき活用する機会がなければ意味がありません。この点において、地域資源は同じ地域で長く住み暮らした者にとっては、当たり前存在であり、その魅力に気づきにくいというケースがしばしば見られます。そこで、我々のような若い人財による新しい視点をもとに、地域資源を活かした魅力的な運動を展開することで、魅力あふれる地域づくりの起点を創出します。その結果、このような運動が伝播し、地域住民が自発的かつ能動的に活動する地域を目指します。

一方で、地域をより良くする運動を継続的に担うことのできる新たな人財育成も、継続的な地域発展には必要不可欠です。運動を担う人財に求められる能力は、日々発展進歩する現代社会において、問題点や課題を様々な視点で分析・検討する能力であると考えます。この能力は考えることを習慣化することにより得られるものです。そのため、次世代を担う子どもたちが多角的な思考力を身に着けることができる運動を行い、より良い地域創造の担い手を育成していきます。

地域の魅力の掘り起こしと、継続的な運動を構築できる人財育成が合わさり、より良い地域創造につながると考え、各目的が連動する運動・活動を行い、地域により良い変化をもたらします。

### 【活動の土台を整え、発信しよう】

青年会議所運動・活動は、地域により良い変化をもたらすものであり、そのような運動・活動を継続するには効率的な組織運営が大切です。効率的な組織運営のためには、会員相互間で活発な議論を行える環境及び議論経過を効率的に確認できる環境づくりが必要不可欠となります。このような環境づくりは、目に見えた活動ではないため、周知されにくい部分ではありますが運動・活動の土台となる部分であることから、従来の方法にとらわれない環境づくりを続ける必要があります。

さらに、どれだけ地域により良い変化をもたらす運動・活動であっても、地域の人々に周知、伝播されなければ、運動・活動が社会に与える影響を最大限発揮することはできません。現代社会ではSNSの発展によって、誰しもが発信者の立場になることが可能になりました。もともと、受け手を意識した発信を実現できなければ、効果的な広報を実現することはできません。広報の受け手を意識し、効率的に社会へ影響を与える発信を実現することが必要です。

より効率的な会議環境の構築及び広報を通し、各運動・活動が社会に与える影響力の最大

## 基本方針及び事業計画

- 1、会津青年会議所全体として取り組む事業
  - ・会員拡大
  - ・公益社団法人日本青年会議所及び東北地区協議会  
福島ブロック協議会への積極的な参加、支援
  - ・姉妹青年会議所との交流
  
- 2、会津青年会議所が委員会を通して取り組む事業
  - ・地域を巻き込める会員を育成する事業
  - ・会員拡大
  - ・新入会員の参加を促進する事業
  - ・新たな魅力を創出するひと、まちづくり事業
  
- 3、会津青年会議所が行政、他団体と協力して行う事業
  - ・会津絵ろうそくまつり
  - ・わんぱく相撲

## 委員会構成

- 1、事務局
  - ・地域を巻き込める会員を育成する事業
  - ・会員拡大の推進
  - ・新入会員の参加を促進する事業
  
- 2、ひと・まち委員会
  - ・地域社会の活性化を図る事業
  - ・青少年の健全な育成を図る事業
  
- 3、総務委員会
  - ・全会員への情報の共有
  - ・総務、広報
  - ・青年会議所会員同士の交流

化を図っていきます。

#### 【同友との繋がりを成長に】

J C I 会津はむつ青年会議所と昭和56年に、函館青年会議所と平成9年に、姉妹締結をしました。各青年会議所とは戊辰戦争の歴史を背景に文化交流があることを縁に姉妹青年会議所となっています。先輩方が姉妹青年会議所を過去から現在に紡いできたことに感謝をし、交流をする中で、更に深い友好関係を築き両地域の振興を図ることが我々の責務です。特に、むつ青年会議所は本年で創立65周年を迎えます。多くの会員で交流し、過去を振り返るとともに、絆を深めることで、学びの機会とし、会員の自己成長に繋がります。

#### 【出向を成長の機会に】

青年会議所は出向という機会があります。出向は同じ志を持った仲間と出会える場所であり、自分自身のネットワークを拓けることで個人の成長が図れ、組織の成長にも繋がります。私自身、福島ブロック協議会への出向を経験し、多くの仲間と出会い、広い視野を持つことができました。また、他の青年会議所の運動・活動を知ることができ、J C I 会津の運動・活動を見直すきっかけにもなります。世界まで繋がりのある青年会議所であるからこそ、様々なネットワークを構築し、各地の同志と友情の輪を深めてほしいと思います。それがJ C I 会津の更なる成長に繋がります。

#### 【最後に】

現代社会の進歩・発展は目まぐるしいものであり、我々は日々新たな問題に対する決断に迫られています。一人の力ではより良い決断や影響が与えられないとしても、私たち一人ひとりがさらに成長したうえで、思いを一つにすれば、J C I 会津に立ち向かえない問題は無いと考えます。新たな問題に誰よりも早く挑戦し、解決することで、地域はさらに発展していきます。私は、J C I 会津が、新たな問題に挑戦する熱い思いをもった同士とともに私たちの故郷である会津地域により良い影響を与え続けられる組織となるよう邁進して参ります。

## 基本理念

新たな問題に挑戦することで、

J C と地域をより良くしよう

スローガン

思いをかたちに



## 理事長所感

公益社団法人 会津青年会議所  
第68代理事長 松本 和也

本年「思いをかたちに」のスローガンを掲げ、一年間メンバー一丸となり活動・運動を展開してまいりました。理事長職を全うすることができたのは、私を支えていただいた理事・監事・直前理事長をはじめ、すべてのメンバーの皆様のおかげです。誠にありがとうございました。

鈴木事務局長をはじめとする事務局においては、「未来に繋げる人の価値！」のスローガンを体現した事業を展開していただきました。委員会メンバーが2名からのスタートで最終的には7名の委員会メンバーとなったことは、私の誇りです。3月例会には「人を巻き込むリーダーシップ」として、安達様を講師としてお呼びし、メンバーのモチベーションアップに繋がる事業となりました。6月例会「まちの想像」では、劔持様、渡邊先輩をお呼びし、今後の会津の観光を中心に新たな発見と今後の課題を知ることができました。この二つの事業ともメンバーの参加率も良く、講師選定も素晴らしく、本年度のスローガンに繋がる例会となりました。9月例会「ポスタープロジェクト」では、私が鈴木事務局長の元で委員としてご指導いただいていた時から鈴木事務局長が構想していた事業で、本年度開催できたのは本当に嬉しく思います。また、予算がなくても補助金で開催できるという手本にもなった事業であると考えます。

松村委員長をはじめとする総務委員会においては、「自利利他円満 ～新たな自分を発見したその先へ～」のスローガンのもと活動していただきました。1月5日の新年会では完璧な設えで良いスタートが切れました。4月例会には「会員の意識改革を行う事業」として、松村委員長の社業を活かして開催していただきました。私自身、座禅と写経は初めての経験でしたので、色々な発見がありました。11月には納会を開催し、出向者報告、新入会員の報告、褒章と一年を振り返りメンバーの成長を感じました。一年間を締めくくりに相応しい例会となりました。また、議事録の作成や会館の清掃、ホームページ、SNSの更新など縁の下の力持ちとして頑張っていただきました。特にSNSの更新はスピーディーでこまめに更新いただき、会津JCのアピールにも繋がり、今後も続けていただきたいと感じました。

星委員長をはじめとするひと・まち委員会においては、「未来を切り開く人材育成」のスローガンのもと運動を展開していただきました。諸事情により途中から委員長交代となりましたが、快く委員長を引き受けていただきました星委員長には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。2月例会「第25会津絵ろうそくまつり」では、少人数での運営でありながら、例年通り開催ができ、昨年以上の来場者がいらっしゃいました。5月例会「第29回わんぱく相撲あいづ場所」では、1年生から6年生の小学生が多く参加され、男子全国大会に2名が出場することができました。男子全国大会に引率いただいた長

谷川君ありがとうございました。

LOMの活動だけではなく、福島ブロック協議会への出向では、監査担当役員に林直前理事長、アカデミー委員会副委員長に星監事をはじめとする多数のメンバーに出向いただきました。納会での出向者報告では、大変前向きな発表があり、出向の意義をメンバーに伝えられたと感じました。多くの担いがある中で、出向いただきました皆様ありがとうございました。

本年の運営にあたっては、委員長陣を支えていただいた田中副理事長、若林副理事長、そして会員拡大を担当していただきました鈴木事務局長、理事会運営をはじめ、会の運営を指揮していただきました山口専務理事、この四役の皆様のご支援・ご協力があって実り多き一年となりました。深く感謝申し上げます。皆様のご協力で、6名の新しい仲間を迎えることができました。そして、栗城外部監事、星監事には適切な会の運営となるよう、サポートとご指導をいただきましたことに感謝申し上げます。特に栗城先輩はご卒業されたにもかかわらず、快く外部監事を引き受けてくださいました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

本年、「思いをかたちに」のスローガンを掲げましたが、納会での皆さんの発表を聞く自分自身の考えや思いを自分の言葉で伝えており、スローガン通りの一年になったと感じました。そして何より、私自身がメンバーに支えられ、成長することができたと思います。一年間誠にありがとうございました。

### 三役所感

#### 副理事長所感

副理事長 田中 厚

松本和也理事長をはじめ理事の皆様、会員の皆様、一年間お疲れ様でした。

本年度は総務委員会の担当副理事長として活動しました。副理事長として松村委員長のサポートは十分にできたとは言えず、松村委員長のフットワークがあつてこそその一年間でありました。また、日々の活動を支えていただいた委員の皆様にも感謝を申し上げます。

「昨年もやっていたから」「そういう決まりだから」という理由では、作業に時間を割きたくないという私的な考えがあります。松村委員長にはそれを汲んでいただき、委員会基本方針の中に「固定概念に囚われず意識改革を行っていく」という文言を入れてくれました。会員が少ない中での運営方法を常に考えていかなければ、魅力ある組織になるのは難しいため毎年少しずつでも改善をしていく姿勢が大切だと思います。

今年は、今まですべて文字起こししていた議事録をダイジェストに切り替え、作業負担を軽減することが出来たと思います。日々、業務の合間を縫って作業していただいたメンバーの皆様には改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今年の活動と反省を活かし、松本理事長の掲げる「おもいをかたちに」を次年度にも繋いで行きたいと思います。一年間、ありがとうございました。

## 三役所感

### 副理事長所感

副理事長 若林 信一

本年、松本理事長のもと、副理事長として会の運営に携わらせていただきました。三役の皆様と協力しながら、よりよい会の運営に努められた1年だったと感じています。

まずは青少年委員会担当として、理事長が掲げる、「思いをかたちに」を意識し、委員長の自立を促していく担当副理事長となれるよう1年間思考錯誤させていただきました。委員長自身のこういったことをやりたいというアイデアを大切に、委員長が自ら行動し、委員会メンバーを引っ張ってってもらえるよう意識しました。その結果、委員会メンバーはもちろんのこと、三役をはじめ、委員会外の会員の皆様にも助力をいただくことができ、なんとか一年間走り抜けることができました。担当として、委員長の成長を実感することができました。ありがとうございました。

続いて、副理事長として、青年会議所としての出向や地域の関係団体への出向など、多くの機会をいただきました。人との出会いにより、私自身の知見を広げることができました。様々な関係性を持つことは負担と感ずることもありますが、私自身の成長にとってはかけがえのない経験であると改めて感ずることができました。このような機会を与えていただいた林理事長、そして出向に際し、ご支援、ご協力いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に、この一年を通して私が感ずたこと、それは、失敗にせよ、成功にせよ、経験してみる、やってみるということは非常に大切であり、行動したからこそわかること、学べるものが非常に多いということです。毎年理事メンバーが変わる会津青年会議所だからこそ、できる、できないではなく、やってみる大切さを何度でも学ぶ機会を会員全員に平等に提供されています。これからも、ともに成長していきましょう。1年間ありがとうございました。

### 専務理事所感

専務理事 山口 大輔

本年度は専務理事として、松本理事長が掲げる「思いをかたちに」のスローガンのもとJ C運動・活動を推進しました。私は、委員長、副理事長、出向では福島ブロック協議会委員長を経験させていただき、プレイヤーとしては一通りの経験をしたと考えておりましたが、

マネージャーとしての役割が大部分を占め戸惑いが多い1年でした。そのような中でも専務経験者のメンバーが多く疑問点を聞ける機会に恵まれたなかでの活動になりました。

また、本年は新型コロナウイルス感染症の感染症レベルが下がり、従来の事業が展開できる状況でしたが、事業展開のための事務運営に課題があったと考えます。この課題を次年度以降改善課題としてさらにより組織運営を実現していきたいと考えます。

最後に1年間会員の皆様の支えがあり、会津青年会議所を運営することができました。ありがとうございました。特に専務理事を任命していただいた松本理事長、そして理事のメンバーに感謝申し上げます。

# 2024年度 諸会議・行事報告

# 1. 総会

NO	総会名	とき	ところ	議事内容
1	2023年度 十二月定時総会	2023年12月29日	会津青年会議所会館	<p>議案 第一号議案 2023年度事業報告承認の件 第二号議案 2023年度決算承認の件 第三号議案 2024年度理事選任の件 第四～八号議案 2024年度理事職務分担選任の件 第九号議案 2024年度外部監事選任の件 第十号議案 その他</p> <p>報告事項 1、2024年度事業計画報告の件 2、2024年度予算報告の件 3、その他</p>
2	2024年度 臨時総会	2024年6月4日	会津青年会議所会館	<p>議案 第一号議案 2024年度追加理事選出の件 第二号議案 その他</p>
3	2024年度 八月定時総会	2024年8月27日	会津青年会議所会館	<p>議案 第一号議案 2025年度理事候補者選出の件 第二号議案 2025年度理事候補者・専務理事候補者選出の件 第三号議案 2025年度外部監事候補者選出の件 第四号議案 その他</p> <p>報告事項 1、2024年度 第一期修正予算報告の件</p>
4	2024年度 十二月定時総会	2024年12月27日	会津青年会議所会館	<p>議案 第一号議案 2024年度決算承認の件 第二号議案 2024年度理事選出の件 第三号議案 2025年度理事候補者・専務理事選任の件 第四号議案 2025年度外部監事候補者選出の件 第五号議案 その他</p> <p>報告事項 1、2024年度事業計画報告の件 2、2024年度予算報告の件</p>

2. 理事会

NO	とき	会議名	議事内容
1	2023/12/27	第1回理事会	<p>協議事項 なし</p> <p>審議事項                      (イ) 理事選定の件 〃の件                      (ロ) 理事長(代表理事)選定 〃の件                      (ハ) 専務理事(業務執行理事)選定 〃の件                      (ニ) 外部監事選定 〃の件                      (ホ) 模擬理事会審議事項一括承認 〃の件                      理事長所信 〃の件                      基本理念 〃の件                      基本方針・事業計画 〃の件                      委員会構成 〃の件                      組織図・出向者決定 〃の件                      理事会日決定 〃の件                      例会開催日決定 〃の件                      外部出向者三役一任 〃の件                      名義後援三役一任 〃の件                      特別委員会設置 〃の件                      総務委員会基本方針 〃の件                      ひと・まち委員会基本方針 〃の件                      事務局基本方針 〃の件                      2024年度予算 〃の件                      2024年度新年会 〃の件                      理事会開催方法四役一任 〃の件</p>
2	2024/1/10	第2回理事会	<p>協議事項                      (イ) 第25回絵ろうそくまつり事業計画並びに予算 〃の件                      (ロ) 3月例会事業計画並びに予算 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 会員資格審議委員会答申 〃の件                      (ロ) 新入会員入会承認(中村祥平) 〃の件                      (ハ) 新入会員入会承認(大里正樹) 〃の件                      (ニ) 第25回絵ろうそくまつり事業計画並びに予算(外部文書) 〃の件</p>
3	2024/1/18	第1回臨時理事会	<p>協議事項                      (イ) 第25回絵ろうそくまつり事業計画並びに予算 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 第25回絵ろうそくまつり事業計画並びに予算 〃の件</p>
4	2024/2/6	第3回理事会	<p>協議事項                      (イ) 3月例会事業計画並びに予算 〃の件                      (ロ) 4月例会事業計画並びに予算 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 3月例会事業計画変更 〃の件                      (ロ) J C会館管理委員会付託 〃の件                      (ハ) 基本財産等管理委員会付託 〃の件                      (ニ) 褒賞委員会付託 〃の件</p>
5	2024/3/6	第4回理事会	<p>協議事項                      (イ) 4月例会事業計画並びに予算 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 4月例会事業計画並びに予算 〃の件                      (ロ) 理事監事選考委員会答申 〃の件</p>
6	2024/4/8	第5回理事会	<p>協議事項                      (イ) 5月例会 〃の件                      (ロ) 6月例会 〃の件                      (ハ) 9月例会 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 9月例会事業計画並びに予算 〃の件                      (ロ) 1月例会事業計画並びに予算 〃の件                      (ハ) 褒賞委員会答申 〃の件</p>
7	2024/5/7	第6回理事会	<p>協議事項                      (イ) 6月例会事業計画 〃の件                      (ロ) 7月例会事業計画 〃の件                      (ハ) 9月例会事業計画並びに予算 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 新入会員承認(村崎健一) 〃の件                      (ロ) 6月例会事業計画承認 〃の件</p>
8	2024/5/22	第2回臨時理事会	<p>協議事項                      (イ) 遠藤和輝君対応 〃の件                      (ロ) 9月例会事業計画並びに予算 〃の件</p> <p>審議事項                      (イ) 理事選任(星直範) 〃の件                      (ロ) 臨時総会招集 〃の件                      (ハ) 9月例会事業警戒並びに決算 〃の件</p>



NO	とき	会議名	議事内容
9	2024/6/6	第7回理事会	協議事項 (イ) 7月例会事業計画 2の件 (ロ) 新入会員会費減免 1の件  審議事項 (イ) 7月例会事業計画 2の件
10	2024/7/8	第8回理事会	協議事項 (イ) その他  審議事項 (イ) J C会館管理委員会付託 2の件 (ロ) 2月例会事業計画並びに予算 2の件 (ハ) 3月例会事業計画並びに予算 2の件 (ニ) 4月例会事業計画並びに予算 2の件
11	2024/8/6	第9回理事会	協議事項 (イ) 10月例会事業計画 2の件  審議事項 (イ) 2025年度理事選任承認 2の件 (ロ) 2025年度監事選任承認 2の件 (ハ) 2025年度代表理事業務執行理事選任 2の件 (ニ) 8月定時総会資料 2の件 (ホ) 新入会員承認(早尾武三) 2の件
12	2024/9/6	第10回理事会	協議事項 (イ) 10月例会事業計画 2の件 (ロ) 11月例会事業計画 2の件  審議事項 (イ) 10月例会事業計画 2の件 (ロ) 6月例会事業報告 2の件 (ハ) 新入会員承認(大竹史泰) 2の件
13	2024/10/7	第11回理事会	協議事項 (イ) 11月例会事業計画 2の件  審議事項 (イ) 11月例会事業計画 2の件 (ロ) 7月例会事業報告 2の件 (ハ) 新入会員承認(多門正崇) 2の件
14	2024/11/6	第12回理事会	協議事項 (イ) その他  審議事項 (イ) 10月例会事業報告並びに決算 2の件 (ロ) 退会承認(下平常貴) 2の件
15	2024/11/6	第13回理事会	協議事項 (イ) 2024年度仮決算 2の件□  審議事項 (イ) わんぱく相撲事業報告並びに決算 2の件 (ロ) 9月例会事業報告並びに決算 2の件 (ハ) 11月例会事業報告並びに決算 2の件 (ニ) 基本財産管理委員会答申 2の件 (ホ) 定時総会案内 2の件
16	2024/12/2	第3回臨時理事会	協議事項 (イ) 2024年度決算 2の件□  審議事項 (イ) 2024年度決算 2の件 (ロ) 2025年度外部監事選任 2の件 (ハ) 2025年度理事選任 2の件 (ニ) 2025年度理事長・専務理事選任 2の件 (ホ) 2025年度予算承認 2の件

### 3. 定例会

NO	月例会	担当	とき・ところ	内容
1	12月総会	総務委員会	2023年12月27日(木)	2024年度十二月定時総会 会津青年会議所会館
2	1月例会	総務委員会	2024年1月5日(金)	2024年度新年会 会津若松ワシントンホテル
3	2月例会	ひと・まち委員会	2024年2月9日(金) 10日(土)	第25回会津絵ろうそくまつり テーマ「平和を願う灯り」 鶴ヶ城
4	3月例会	事務局	2024年3月11日(月)	「人を巻き込むリーダーシップ」 会津青年会議所会館
5	4月例会	総務委員会	2024年4月6日(土)	「意識改革に必要な気づき」 臨済宗妙心寺派 瑞雲山鳳徳寺
6	5月例会	ひと・まち委員会	2024年5月11日(日)	第29回 わんぱく相撲 あいづ相撲場
7	6月例会	事務局	2024年6月20日(木)	「これからのまちづくり」 会津青年会議所会館
8	7月例会	四役	2024年7月6日(土) 7日(日)	「第54回福島ブロック大会in田村参加」 グリーンパーク都路
9	8月総会	総務委員会	2024年8月27日(火)	2024年度八月定時総会 会津青年会議所会館
10	9月例会	事務局	2024年9月29日(土) 30日(日)	中心市街地「マチイク」ポスター スマートシティAict
11	10月例会	地域委員会	2022年10月14日(金)	会津の魅力を発信する事業 「会津で夢を見よう ～SNSで会津の魅力を広げよう～」 会津青年会議所会館
12	11月例会	総務委員会	2022年11月15日(火)	納会 (出向者報告・委員会報告・褒章・理事長総括) ルネッサンス中の島

4. 事業・行事開催一覧

No	開催日	種別	事業名	講師等	開催場所	担当委員会
1	2023/12/27	総会	2024年度12月定時総会		会津青年会議所会館	総務委員会
2	2024/1/4	事務所	事務所開き		会津青年会議所会館	理事
3	2024/1/5	例会	公益社団法人会津青年会議所 2025年度 新年会（1月例会）		会津若松ワシントンホテル	総務委員会
4	2024/1/16	新年会	公益社団法人 郡山青年会議所 新年会		郡山市	四役
5	2024/1/19 ~21	大会	京都会議（ハイブリッド開催）		京都府京都市	全会員
6	2024/1/25	新年会	公益社団法人 二本松青年会議所 新年会		二本松市	四役
7	2023/1/25	新年会	公益社団法人 福島青年会議所 新年会		福島市	四役
8	2024/1/26	新年会	公益社団法人 白河青年会議所 新年会		白河市	四役
9	2024/1/27	新年会	公益社団法人 いわき青年会議所 新年会		いわき市	四役
10	2024/1/30	新年会	公益社団法人 福島青年会議所 新年会		福島市	四役
11	2024/1/30	新年会	公益社団法人 仙台青年会議所 新年会		仙台市	四役
12	2024/2/2	新年会	公益社団法人 田村青年会議所 新年会		郡山市	四役
13	2024/2/3	ブロック	第1回委員会議所会議		郡山市	理事長・専務
14	2024/2/4	ブロック	福島ブロック協議会 新春のつどい・アカデミー開校式		郡山市	全会員
15	2024/2/9 ~10	例会	第16回会津絵ろうそくまつり 子ども行燈撮影（2月例会）		鶴ヶ城	地域委員会
16	2024/3/5	ブロック	第2回委員会議所会議		福島市	理事長・専務
17	2024/3/11	例会	3月例会「人を巻き込むリーダーシップ」	安達勇人	会津青年会議所会館	事務局
18	2024/4/5	ブロック	第3回委員会議所会議		猪苗代町	理事長・専務
19	2024/4/13	ブロック	しゃくなげカップ		安達郡大玉村	全会員
20	2024/4/6	例会	4月例会 会員の意識改革を行う事業	大内賢英	興徳寺	総務委員会
21	2024/5/9	ブロック	第4回委員会議所会議		原町	理事長・専務
22	2024/5/11	例会	5月例会 第27回わんぱく相撲あいつ場所		総合運動公園 相撲競技場	ひとまち委員会
23	2024/5/18	日本	会頭公式訪問		郡山市	全会員
24	2024/5/25	ブロック	U-11JCカップ		須賀川市	理事長・専務
25	2024/6/15	ブロック	わんぱく相撲 福島ブロック大会in南相馬		南相馬市相撲場	ひとまち委員会委員会
26	2024/6/20	例会	6月例会	剣持勝 渡邊 幸嗣	会津青年会議所会館	事務局
27	2024/6/22	ブロック	JC野球大会		郡山市	全会員
28	2024/7/5	ブロック	第5回委員会議所会議		田村市	理事長・専務
29	2024/7/6 ~7	ブロック	第54回福島ブロック大会inたむら		田村市	全会員
30	2024/7/12 ~13	事業	西館青年会議所OB会との交流事業		西館市	全会員
31	2024/7/19 ~21	日本	サマーコンファレンス		横浜市 パシフィコ横浜	全会員
32	2024/8/3 ~4	ブロック	わんぱく相撲 全国大会		東京都	ひとまち委員会
33	2024/8/25	周年	いわき青年会議所創立20周年記念式典		いわき市	四役
34	2024/8/27	総会	2024年度8月定時総会		会津青年会議所会館	三役、総務委員会
35	2022/9/7 ~8	東北	東北青年フォーラムin青森		青森県	全会員
36	2024/9/15	周年	浪江青年会議所創立45周年記念式典		浪江町	四役
37	2024/9/22	会津まつり	会津まつり		鶴ヶ城	全会員
38	2024/9/27	ブロック	第6回委員会議所会議		本宮市	理事長・専務
39	2024/9/28 ~29	例会	9月例会 中心市街地「マチイク」ポスタープロジェクト事業		スマートシティAICT	事務局
40	2024/10/4 ~6	日本	全国大会in福岡		福岡県	全会員
41	2024/10/17	例会	10月例会 「JC参加への機運上昇検討会」		会津青年会議所会館	総務委員会
42	2024/10/18	ブロック	第7回委員会議所会議		いわき市	理事長・専務

No	開催日	種別	事業名	講師等	開催場所	担当委員会
43	2024/10/20	周年	むつ青年会議所創立65周年記念祝賀会		むつ市	全会員
45	2024/11/8	例会	11月例会 納会		芦ノ牧プリンスホテル	総務委員会
47	2024/12/1	ブロック	福島ブロック協議会 事業報告会・卒業式		郡山市	全会員
48	2024/12/3	OB	会津JCOB会 総会		ルネッサンス中ノ島	理事
49	2024/12/17	会津4JC	会津4JC卒業式		会津若松市	全会員
50	2024/12/27	総会	2023年度12月定時総会		会津青年会議所会館	総務委員会

# 2024年度 事業報告

## 事務局

事務局長 鈴木 亮平  
副委員長 大里 正樹  
委員 中村 祥平  
委員 村崎 健一  
委員 早尾 武三  
委員 多門 正崇

### 事業計画

- ・ 3月例会 人を巻き込むリーダーシップ
- ・ 6月例会 まちの想像
- ・ 9月例会 中心市街地「マチイク」ポスタープロジェクト

### 委員長所感

本年理事長が掲げる、思いをかたちにしたスローガンのもと事務局では3例会開催させて頂きました、どれも新規例会として立案や段取りは大変でしたが、3月には人を巻き込むとは？を考え6月では、未来へ進むための新たな方向性の提案、そして9月には多くの人を巻き込んで事業を行いました。今回自分自身やりたい思いや伝えたい思いは必ず形になるということを体現させてもらって、一年間走り切りました。委員会としては新入会員が続々入会しましたが、中々思ったように委員会を開催できずに申し訳ありませんでした。ただ、委員会をするとメンバーはすごい確かな意見をしてくれて、とても助かりました。

最初からこのメンバーで動き出したらもっと・・・

とても楽しい一年間でした。ありがとうございました。

## 事業活動報告

事業名	3月例会 人を巻き込むリーダーシップ	開催日時	2024/3/13
参加予定人数	正会員 19名 候補者 5名	協力団体	
参加人数	正会員 14名 候補者 2名	参加率	全体率 66.7% 正会員参加率 73.7%
公益事業目的	該当項目なし		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
<p>リーダーシップへの意識醸成を目的に実施します。</p> <p>1. 講演 「町おこしは、人起こし」をモットーに掲げる安達氏に人を巻き込むこととは そこから繋げる町おこしについての講演を頂く。</p> <p>講演内容 (1) 自己紹介【5分】 (2) 笠間納涼盆踊り大会の発足について【15分】 (3) 笠間市の過去・現在・未来(お祭りを通してまたは人を巻き込んで)【15分】 (4) 町おこし＝人起こしについて【15分】 (5) 会社での人の巻き込み方(リーダーシップ)【15分】</p>	<p>2023年12月13日 講師アポイント</p> <p>2023年12月28日 第1回四役会</p> <p>2024年 1月10日 第2回理事会 協議</p> <p>2024年 1月17日 第1回講師打ち合わせ(電話・メールにて)</p> <p>2024年 1月28日 第2回講師打ち合わせ(電話・メールにて)</p> <p>2024年 1月26日 第2回四役会</p> <p>2024年 2月 6日 第3回理事会 協議・審議</p> <p>2024年 3月 4日 第3回講師打ち合わせ(笠間市)</p> <p>2024年 3月13日 例会当日</p> <p>2024年 7月 3日 第7回四役会 報告</p> <p>2024年 7月 8日 第8回理事会 報告上程</p>		
事業所見	<p>3月例会にご参加頂きました多くの会員の皆様にご挨拶申し上げます。</p> <p>本例会の講師、安達様の言葉で「町おこしは、人起こし」という言葉があるようにJCという小さな枠組みの中で動くより、どれだけ人を動かせるか、どれだけ人に影響を与えていくかがこれからの課題になっていくと感じました。</p> <p>人を巻き込んだ先には必ず地域のため、自分のためになっていくことも分かり、一歩踏み出す勇気を頂きました。</p> <p>講師打ち合わせにて笠間市までご同行頂きました理事長、ご協力頂きました会員の皆様には御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>		
講師	株式会社ADACHI HOUSE代表取締役 安達 勇人(アダチ ユウト) 様		

## 事業活動報告

事業名	6月例会 まちの想像	開催日時	2024年6月20日
参加予定人数	正会員 21名 一般・候補者 10名	協力団体	
参加人数	正会員 11名 一般・候 5名	参加率	全体率 51.6% 正会員参加率 52.4%
公益事業目的	該当項目		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
<p>若者視点でのまちづくりのおもいを共有することを目的に開催致します。</p> <p>・テーマ 「これからのまちづくり」</p> <p>(1)DMOとは(講演)</p>	<p>2024年3月19日 委員会</p> <p>2024年3月22日 第1回講師打ち合わせ</p> <p>2024年3月27日 第4回四役会</p> <p>2024年4月 1日 委員会</p> <p>2024年4月 8日 第5回理事会 上程・協議</p> <p>2024年4月13日 委員会</p> <p>2024年4月19日 第2回講師打ち合わせ</p>		

<p>観光資源(会津の魅力)を通じて持続的な地域づくりを図る。行政だけではなく、事業者・企業や地域住民で作り上げる。 (2)会津若松市におけるまちづくりの想像(トークディスカッション) 講師・釘持様とアドバイザー・渡邊様によるこれからの会津の向かうべき姿について トークして頂く。</p> <p>・講師 イー・リゾート 代表 釘持 勝(ケンモツ マサル)様 ・アドバイザー 会津芦ノ牧温泉 大川荘 代表取締役社長 渡邊 幸嗣(ワタナベ コウジ) 様</p>	<p>2024年 4月 30日 第5回四役会 上程・協議 2024年 5月 7日 第6回理事会 上程・協議・審議 2024年 5月中旬 第3回講師打ち合わせ 2024年 6月 13日 例会日 2024年 8月 26日 第9回四役会 報告上程 2024年 9月 6日 第10回理事会 報告上程</p>
--	---

**事業所見**  
6月例会にご参加頂きました多くの皆様には感謝申し上げます。  
講師・釘持 勝様のご講演では自分が住んでいる日本の状況すらまともに知らずに、危機感さえ覚えませんでした。しかしその中ではっきりとやるべきこと、やらないと手遅れになることも教えて頂き、青年会議所としてもその時代に合った動きをするべきだと感じました。  
例会では大変ご迷惑をおかけした部分もありましたが、ご協力頂きました皆様に深く御礼申し上げます。

<p>事業名 9月例会 中心市街地「マチイク」ポスタープロジェクト</p>		<p>開催日時 2024年9月29日</p>
<p>参加予定人数 正会員 23名 候補者 5名</p>	<p>協力団体 会津若松市観光商工部商工課 一般社団法人AiCTコンソーシアム</p>	
<p>参加人数 正会員 9名 候補者 1名</p>	<p>参加率 全体率 35.7% 正会員参加率 39.1%</p>	
<p>公益事業目的 該当項目 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業</p>		
<p>事業目的及び事業概要 まちが育ち、人を育み、誇りや愛着を源とした持続可能なまちづくりを目的として開催致します。</p> <p>テーマ「わたしたちのまち」 (ア) 会津若松市の高校生による店舗広告ポスターの作成。 ・市内県立・私立高校に広く公募をかける (イ) 高校生2人～3人の1チーム ・基本的にはチームでの応募 (ウ) 各店舗への取材を通じてポスターの原案を練る ・各チーム最低2回の取材を行ってもらう ・初めのアポイントまたは取材に関するの伴走をメンバーや市役所職員で行う (エ) プロのデザイナーに構成してもらう。 ・各チーム2回程の校正で終わるようにする。 (オ) ポスターについて市民による展示・投票。 ・ポスターの脇に店舗への想いやPRを記載したPOPを付ける ・スマートシティAiCTが主催する9月29日のAiCTまつりにて展示・投票を受け付ける (カ) 投票により順位を決める。 ・その場で開票・表彰式を行う。 ・得票数が同票の場合、参加される高校生による決戦投票(偶数の場合理事長をいれる)1.2.3位それぞれ。</p>	<p>実施までのスケジュール及びプログラム</p> <p>2023年 11月 15日 市民提案型協働事業応募 2023年 11月 22日 商工課打ち合わせ 2023年 1月 24日 委員会 2024年 3月 6日 第4回理事会 報告書 2024年 3月 18日 若松商業高校訪問 市役所打ち合わせ 2024年 3月 19日 委員会 2024年 3月 25日 第4回四役会 協議 2024年 4月 3日 一般社団法人AiCTコンソーシアム打ち合わせ(満田様) 2024年 4月 8日 第5回理事会 協議 2024年 4月 24日 市民提案型事業 審査会 2024年 4月 26日 第5回四役会 2024年 5月 7日 第6回理事会 協議 2024年 5月 16日 第2回臨時四役会 2024年 5月 22日 第2回臨時理事会 協議 2024年 6月 1日 参加者(高校生)発送文書 2024年 7月上旬 協力店舗集め 2024年 7月 16日 参加者(高校生)説明会 稽古堂 会議室 17:30～ 2024年 8月上旬～ 取材開始 2024年 9月上旬 ポスター完成 2024年 9月 29日 例会日 スマートシティAiCT</p>	
<p>事業所見 9月例会にご参加、ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げたいと思います。 今回は市役所、店舗、高校生、そしてAiCTと色々な方と連携を図り進めてきました。 ただ、人数が少ない青年会議所でも人を巻き込むことができれば成果は得られるし、また評価もされてくると思います。 高校生が店舗の取材を通して感じた思いをかたちにすることができ、また私自身やりたかった思いをかたちにできたことは、大変喜ばしく思います。誠にありがとうございました。</p>		
<p>協力団体 会津若松市観光商工部商工課 一般社団法人AiCTコンソーシアム マチイクプロジェクト実行委員会 (取材) 福島民報社、福島民友新聞社</p>		





## 総 務 委 員 会

委員 長 松村 俊祐  
副委員 長 清水 広太  
副委員 長 堺野 美将  
副委員 長 長谷川 孝洋

### 事業計画

1月例会：新年会 4月例会：会員の意識改革を行う事業 11月例会：納会
---

### 委員長所感

一年間通して、陰ながら会津青年会議所活動に携わることが出来たと考えています。新年会では、事業を行うことは大切ですが、何よりも時間を有効に使うことが大切だと感じました。そして様々な方々のお力添えによって事業を行うことが出来ていると身に染みて感じる事が出来ました。4月例会では、本職を最大限に活かした例会を行えました。昨今は何かと便利に過ごすことが出来る社会になりましたが、その反面精神面では昔よりも貧しくなっています。少しでも今までの意識を変えることで青年会議所活動に活かしてほしいと思い企画しました。11月例会では、歴代理事長の2名をはじめ4名の方を無事に送り出すことができました。来年度はさらに成長するために今年度の経験を活かして青年会議所活動に邁進していきたいと感じることができました。
---

## 事業活動報告

事業名	新年会(1月例会)	開催日時	2024年1月5日(金)
参加予定人数	正会員 22名 一般 323名	協力団体	特になし
参加人数	正会員 14名 一般 97名	参加率	全体率 32.2% 正会員参加率 63.6%
公益事業目的	該当項目他2		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
我々(公社)会津青年会議所は、本年新たなスタートを踏み出します。本新年会は、2024年度のお披露目の場であるとともに、これまで諸先輩方が積み重ねてきた青年会議所運動を、地域を代表する来賓に周知するための絶好の機会となります。年頭に際し、(公社)会津青年会議所は、常日頃より我々の青年会議所運動にご理解、ご協力を頂いている方々を新年会にお招きし、感謝を伝え、2024年度の(公社)会津青年会議所の運動方針を発表する場が必要と考えます。	2023年 10月13日 会場打ち合わせ(一回目) 11月6日 第1回模擬理事会 11月14日 第2回模擬四役会 11月21日 第2回模擬理事会 11月22日 発送文書・招待状準備 11月29日 臨時模擬理事会 招待者リスト、発送文書部分審議 12月6日 招待状発送 12月21日 正会員・特別会員・招待客返信締め切り 12月21日 全体リハーサル(会館) 12月26日 全体リハーサル(ワシントンホテル) (25日印刷会社へ提出、27日校正、28日修正提出、29日納品)  2024年 1月5日 新年会当日 1月上旬 委員会(事業報告書作成) 1月下旬 第3回四役会 協議 2月6日 第3回理事会 報告上程		
事業所見	2回目の委員長として初めての通年事業である新年会を無事に終えることが出来ました。松本理事長、山口専務をはじめ多く理事メンバーには社業が忙しい中積極的にお手伝いいただきました。また、総務委員会のメンバーも社業がとて忙しい中、年末年始を通して夜遅くまで新年会成功に向けて委員会活動に取り組んでくれました。しかし、私自身、2年連続の委員長にも関わらず、昨年の反省が活かされていない状況になってしまいました。委員長自身もっと各メンバーに的確に指示が出せるようにして、入会歴に関係なく委員長になったら責任を持ってメンバーへの支持が的確に出せるようにしていきたいと思えます。最後になりましたが、松本理事長をはじめ多くのメンバーに支えられて新年会を終えることが出来ました。ありがとうございました。		
協力団体	無し		

## 事業活動報告

事業名	4月例会(会員の意識改革を行う事業)	開催日時	2022年4月6日(土)
参加予定人数	正会員 21名 一般 0名	協力団体	臨濟宗妙心寺派 瑞雲山 興徳寺
参加人数	正会員 10名 一般 0名	参加率	全体率 47.6% 正会員参加率 47.6%
公益事業目的	該当項目他1		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
現代を生きる我々青年経済人は、常にマルチタスクに追われており、忙しさの中で活動の本質や意義について忘れてしまいます。今後も時代に合った組織運営をしていくためには、本質に立ち返り当たり前を見直せる人材になる必要があります。	2月2日 講師打ち合わせ(一回目) 2月6日 第3回理事会報告 2月16日 講師打ち合わせ(二回目) 2月28日 四役会 3月6日 第4回理事会(協議) 3月26日 講師打ち合わせ(三回目) 4月6日 第5回理事会(審議) 4月5日 講師最終打ち合わせ(四回目) 4月6日 例会当日 5月下旬 第6回四役会 協議 6月6日 第7回理事会 報告上程		

<b>事業所見</b> 本例会では、具体的な事業内容(手法)が先行して、背景・目的を先に考えることが出来ませんでした。参加人数も10名と少人数の開催となり会員に電話をして参加してもらうように声かけをするべきだと感じました。しかし、私の僧侶としての分野を最大限に活かした例会を企画することが出来ました。JCと仏教は似ている部分がとても多いので、これからも自分の得意分野を活かしてJC活動をしていきたいと思ひます。
<b>協力団体</b> 臨済宗妙心寺派 瑞雲山 興徳寺

事業名 納会(11月例会)	開催日時 2022年11月8日(金)
参加予定人数 正会員 22名 一般 0名	協力団体 特になし
参加人数 正会員 17名 一般 0名	参加率 全体率 77.3% 正会員参加率 77.3%
公益事業目的該当項目他2	
<b>事業目的及び事業概要</b> 2024年度、(公社)会津青年会議所は、「思いをかたちに」のスローガンのもと、様々な運動・活動を行ってまいりました。1年間を総括し、次年度以降も効率的に運営していくために会員間で共有して次年度に継承していく必要があります。	<b>実施までのスケジュール及びプログラム</b> 7月 4日 委員会 7月11日 委員会 8月26日 第9回三役会 9月 6日 第10回理事会 9月17日 現地調査 9月24日 第10回三役会 10月 6日 第11回理事会 協議・審議 10月 7日 総務委員会・発送文書 10月29日 会場最終確認・委員会(リハーサル) 11月 5日 委員会・リハーサル(最終) 11月 7日 委員会・例会準備 11月 8日 11月例会 11月下旬 最終四役会 11月下旬 最終理事会

<b>事業所見</b> 松本理事長の1年間の集大成として無事に納会を終えることが出来ました。「おもいをかたちに」のスローガンのもと、多くの会員から様々な思いを聞くことが出来、来年の福島ブロック協議会福島の未来創造委員会の委員長を頑張ろうと決意することが出来ました。委員会・出向者・新入会員から期限内に提出されなかったことは、総務委員長の呼びかけ不足であり、全て総務委員長の責任である。この場を借りてお詫び申し上げます。 1年間、総務委員長を務めさせていただき理事会の運営方法や提出期限の厳守などを身に染みて感じる事が出来ました。2年連続委員長という機会の提供をさせていただいた皆様ありがとうございました。
<b>協力団体</b> 無し



## ひと・まち委員会

委員長 星 直範  
副委員長 大竹 史泰  
副委員長 添田 将  
委員 一重 卓冬

### 事業計画

- ・ 2月例会 第25回会津絵ろうそくまつり
- ・ 5月例会 第29回わんぱく相撲あいづ場所

### 委員長所感

地域資源を活かし魅力的な事業にすることができた会津絵ろうそくまつり、次世代の会津を担う子どもたちが多角的な思考を養うことができるわんぱく相撲事業、どちらの事業も理事長の思いを汲み取り成功を取めることができたと思います。年度の途中から体制が変わり戸惑いもある中、少数精鋭で活動してきましたが委員会メンバーだけでなくLOMメンバーの協力もあり一年間活動することができました。

特に印象に残っている事業は会津絵ろうそくまつりです。絵付け体験事業、御薬園の運営では例年になく少人数での運営となりましたが、一人ひとりが自分の役割を考え行動できたこと、最少数で運営できたことは各々の自信に繋がったのではないかと思います。

他団体と連携が必要な事業であり、準備も含めて非常に時間も労力もかかる事業ではありますが、振り返るとやりがいのある素晴らしい事業だなと改めて感じています。

委員会の運営としては、事業の準備にあたり様々な締め切りに対してぎりぎりになり慌てて着手したところも多く、もう少し余裕をもって活動できればなお良かったかなと思っています。次年度は盤石な委員会運営ができるように、良くできたところ、反省点は次年度へしっかりと引き継ぎたいと思います。一年間ありがとうございました。

## 事業活動報告

事業名	2月例会 第22回会津絵ろうそくまつり	開催日時	2024年2月9日、10日
参加予定人数	正会員 18名 候補者 15名	協力団体	
参加人数	正会員 13名 候補者 1名	参加率	全体率 42.4% 正会員参加率 72.2%
公益事業目的該当項目第5条 第1号			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
<p>地域の魅力として次世代にこのお祭りを引き継ぐことを目的に開催します。</p> <p>◎親子ろうそく絵付け体験 日時:2月3日(土) 午前(10:00~12:00)、午後(13:00~15:00)の2回開催 場所:公益社団法人会津青年会議所会館 講師:山形屋本店10代目 薄 敬治様</p> <p>◎第25回会津絵ろうそくまつり 本番 日時:2月9日(金) 13:00~21:00 2月10日(土) 13:30~21:30 ※まつりの時間は、17:00~20:30 場所:鶴ヶ城・御薬園</p> <p>&lt;事業概要&gt; ○親子ろうそく絵付け体験展示ブース 親子ろうそく絵付け体験に参加いただいた皆様が作成した作品の展示および本番2日目に点灯式を開催。 ○子ども行燈 保育園、幼稚園、こども園の皆様にご協力いただき、想いを込めて書いていただいた絵で彩った行燈を展示。 ○地上絵 公立大学法人会津大学短期大学部 高橋教授協力のもと、三年ぶりに地上絵を実施。 ○その他、多数の参画団体のブースを出展。</p>		<p>2023年 10月12日 まつり協会と事前打ち合わせ(2024年度直前理事長、委員長) 11月6日 第1回会津絵ろうそくまつり幹事会 11月20日 第1回会津絵ろうそくまつり実行委員会 11月29日 御薬園開催打ち合わせ 12月6日 NTT倉庫備品チェックおよび御薬園現場確認 12月26日 進捗状況確認(まつり協会) 会津短大高橋先生と打ち合わせ(電話)</p> <p>2024年 1月4日 第2回四役会 1月10日 第2回理事会 1月12日 ボランティア依頼、子ども行燈依頼対応 1月17日 AiCTコンソーシアム ボランティア依頼説明会 1月18日 第2回絵ろうそくまつり実行委員会 幹事会 1月22日 ボランティア募集締め切り 1月29日 ボランティア説明会兼LOM説明会 2月3日 親子ろうそく絵付け体験 2月8日 NTT倉庫から備品等搬出 ※要調整 御薬園事前設置 ※要調整 2月9日 事業当日 2月10日 事業当日 2月11日 会場清掃・後片付け 2月中旬 支払い対応 3月上旬 報告議案作成 7月8日 第8回理事会 報告</p>	
事業所見			
<p>ご協力いただきました会員の皆様、そして会津絵ろうそくまつりに関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。本当に少ない人数で、御薬園は数名での運営、鶴ヶ城も本部は一人しかいない状況でありましたが、事故なく、大盛況のうちに終えることができました。ただただ、ご尽力いただいた皆様のおかげです。</p> <p>JC活動をしていて、改めて実感しましたが、実施主体となる我々が、地域に対してこうあるべきだ、こうしたらよりよい地域になりますよということを、しっかりと見せていけるリーダーたる組織でなければならないと考えさせられました。ただ、これは誰かが大変になってやり遂げればいいというものではなく、大変なときには大変なんだということをしっかり関係者にお話をして、協力しあって、よりよい事業を構築することが大切だということです。そのためにも、リーダーたる資質を学び、事業に活かしていくことが大事になると実感しました。</p>			
協力団体			
<p>絵ろうそくまつり実行委員会 公立大学法人 会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース 市内保育園、幼稚園、こども園 市内小学校 ボランティアとして参加いただいた地域企業・団体の皆様</p>			

## 事業活動報告

事業名	5月例会 第29回わんぱく相撲あいづ場所	開催日時	2024年5月11日
参加予定人数	正会員 21名 候補者 15名	協力団体	
参加人数	正会員 12名 候補者 0名	参加率	全体率 33.3% 正会員参加率 57.1%
公益事業目的該当項目第5条 第2号			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
<p>子どもたちがわんぱく相撲大会という機会を通して、自己成長につながる、地域を明るく未来へと導く人材に育成することを目的とします。</p> <p>■あいづ場所 :2024年5月11日(土曜日) 会場:あいづ相撲場(総合運動公園)</p>		<p>2月7日 わんぱく相撲ブロック大会第1回打ち合わせ 2月25日 わんぱく相撲ブロック大会第2回打ち合わせ 2月28日 会津相撲協会(清野様)と打ち合わせ 3月6日 第4回理事会(報告) 3月25日 第4回四役会 4月6日 第5回理事会</p>	

■ブロック大会 :2024年6月 15日(土曜日)  
会場:南相馬市相撲場

■男子全国大会 :2024年8月 4日(日曜日)  
会場:両国国技館

■女子全国大会 :2024年9月22日(日曜日)  
会場:愛媛県武道館

4月中旬 各学校へチラシ配布  
5月上旬 相撲協会協力の元、星取表作成  
5月11日 わんぱく相撲あいづ場所  
6月15日 わんぱく相撲福島ブロック大会 原町  
8月 4日 わんぱく相撲男子全国大会(東京都:両国国技館)  
9月22日 第5回わんぱく相撲女子全国大会 伊予まつやま大会(愛媛県武道館)  
11月26日 第13回理事会にて報告

#### 事業所見

毎年開催している事業であり楽しみにしている子どもたちも多い事業ですが、今回は、これまで参加したことのない子どもたちにも参加してもらい、様々な経験を積んで欲しいとの想いで開催いたしました。当日、参加された子どもたちからは「初めての経験だった。参加できて楽しかった。勝つことの喜びを知った。」など数多くのお言葉をいただきました。これらを経験してもらったのも皆さまのおかげです。ありがとうございました。なお事業の途中から運営を前任者より引き継ぎましたが、前任者との引き継ぎにおいて私の至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけしたこと深くお詫びいたします。大変申し訳ございませんでした。その中でも皆さまのご協力により、無事にわんぱく相撲を終えることができました。本当にありがとうございました。

#### 協力団体

会津相撲協会、会津相撲クラブ、会津若松市教育委員会、喜多方市教育委員会  
南会津町教育委員会、西会津町教育委員会、会津美里町教育委員会



# ひと・まち委員会 事業収支決算書

(単位:円)

項目	2月例会			5月例会		
	予算額	決算額	差異	予算額	決算額	差異
(収入の部)		(収入の部)		(収入の部)		
1. 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0
2. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0
3. 受取会費	0	0	0	280,000	205,847	74,153
4. 事業収益	60,000	52,000	8,000	30,000	14,000	16,000
5. 受取補助金等	2,230,000	2,181,549	48,451	0	0	0
6. 受取負担金	0	0	0	0	0	0
7. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0
8. 雑収	0	0	0	0	0	0
<b>収入合計(1)</b>	<b>2,290,000</b>	<b>2,233,549</b>	<b>56,451</b>	<b>310,000</b>	<b>219,847</b>	<b>90,153</b>
(支出の部)		(支出の部)		(支出の部)		
1. 給料手当	0	0	0	0	0	0
2. 福利厚生費	0	0	0	0	0	0
3. 旅費交通費	0	0	0	0	0	0
4. 通信運搬費	0	0	0	0	0	0
5. 消耗什器備品費	0	0	0	30,800	30,800	0
6. 消耗品費	1,190,585	1,194,382	△ 3,797	38,610	38,610	0
7. 印刷製本費	0	0	0	30,647	30,647	0
8. 広報費	160,433	160,763	△ 330	0	0	0
9. 燃料費	0	0	0	0	0	0
10. 光熱費	0	0	0	0	0	0
11. 賃借料	0	0	0	3,570	0	3,570
12. 保険料	59,130	59,130	0	15,310	8,490	6,820
13. 諸謝金	0	0	0	2,700	0	2,700
14. 租税公課	0	0	0	0	0	0
15. 委託費	399,960	385,880	14,080	0	0	0
16. 渉外費	252,664	252,664	0	150,000	78,680	71,320
17. 記念品費	176,000	176,000	0	32,290	32,290	0
18. 雑費	5,500	4,730	770	0	330	△ 330
19. 預かり金支出	0	0	0	0	0	0
20. 予備費	45,728	0	45,728	6,073	0	6,073
<b>支出合計(2)</b>	<b>2,290,000</b>	<b>2,233,549</b>	<b>56,451</b>	<b>310,000</b>	<b>219,847</b>	<b>90,153</b>
収支差額(1)-(2)	0	0	0	0	0	0

## 2024年度外部出向者名簿

	各会議・委員会名	出向者名
1	会津若松市こどもまつり実行委員会	松本・遠藤
2	会津若松市交通対策協議会委員	松本 和也
3	会津若松市交通対策協議会委員交通安全教育部会	松本
4	会津若松市民憲章推進委員会	松村 俊祐
5	会津若松市民憲章推進委員会〇〇会	松村 俊祐
6	会津若松社会福祉協議会評議員(2年)	山口 大輔
7	会津EU協会理事	林 陵平
8	会津若松市中小企業勤労者福祉サービスセンター理事	松本 和也
9	会津コンピューターサイエンススクール実行委員会	山口 大輔
10	福島県クリーンふくしま運動推進協議会(2年)	林 陵平
11	会津秋まつり実行委員会(会津まつり協会)	松本
12	会津若松観光ビューロー役員(2年)	鈴木→田中
13	荒城の月音楽祭	松本
14	会津絵ろうそくまつり実行委員会	鈴木・林・松本・松村
15	会津若松市定住・二地域居住推進協議会	松本
16	会津若松市中心市街地活性化協議会	松本
17	会津若松市公園緑地協会	田中
18	会津若松市国際交流協会 理事 (1年)	松村 俊祐
19	若松城整備審議会 (2年)	松本 和也
20	あいづ食の陣実行委員会	林 陵平
21	社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員	山口 大輔
22	八重顕彰事業実行委員会	林 陵平
23	地球にやさしいふくしま県民会議会津地方会議	遠藤 和輝
24	デジタル未来アート実行委員会	林 陵平
25	あいづまつり協会 理事	鈴木亮平→松本
26	司馬遼太郎顕彰委員会	鈴木 亮平
27	サムライシティプロジェクト	鈴木 亮平
28	未来会議	遠藤 和輝

(※別紙 報告記入フォーマット 出向者用)

公益社団法人 会津青年会議所 11月例会・納会

テーマ：「思いを後世に、繋いでいくこと」

開催日時：2024年11月8日（金）19:00～

開催場所：芦ノ牧プリンスホテル

担 当：総務委員会

【出向者報告】8名×各2分

内 容：各出向者の総括。出向先での活動内容、成果等を発表する。

なお、当日は1人あたり2分以内でお願いします。

報 告 書：添付してある報告書に、出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(なお、10月25日（金）までに返信して下さい。)

出向者 発表順：

(公社) 日本青年会議所 東北地区協議会

・東北青年フォーラム運営委員会 委員 若 林 信 一 君

(公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会

・監査担当役員		林	陵	平	君	
・アカデミー委員会	副委員長	星	辰	典	君	
	委員	星	直	範	君	
・組織連携推進会議	委員	松	村	俊	祐	君
・福島の未来創造委員会	委員	清	水	広	太	君
・ブロック大会実行委員会	委員	田	中	厚	君	
・総務広報委員会	委員	鈴	木	亮	平	君

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区協議会

出向先委員会名

および役職 : 東北青年フォーラム運営委員会 委員

記入者名前 : 若林 信一

※出向者報告内容 : 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(成果)

一回も参加できませんでした。

(反省)

今回は参加可能な出向をしたいと思います。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向は自分の為になりますので積極的に行ってみてください。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会  
出向先委員会名  
および役職 : 監査担当役員  
記入者名前 : 林 陵平

※出向者報告内容 : 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(成果)

各会議では終盤に監査講評があり会議の内容や進行について意見し、実施された事業や様々な事柄について話す機会があります。いかに内容をコンパクトにして伝えるのか、どんな内容を話したら福島ブロック協議会の為になるのか内容を精査して伝え方を考えるようになりました。

(反省)

本来であれば会議や各事業、アカデミー委員会の委員会にも出席するべき立場であったが出席できないものが多数ありました。しかし、理事長たちが集結する会員会議所はリアル出席し、役員会はWEBで出席するなどして仕事との折り合いをつけながら対応しました。

同じ監査担当役員と調整して出来るだけ誰も出席していないという状態を作らないよう心掛けました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向では多くの人と出会うことが出来ます。そのつながりが仕事に直接つながる人もいますが大半の人は仕事に直結することはありません。しかし、優秀な人材に多く出会え刺激を受け、自分を高めることが出来ます。私は福島ブロックの役員として出向出来たこと良かったと思います。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

出向先名 : 福島ブロック協議会  
出向先委員会名 : アカデミー委員会  
および役職 : 副委員長  
記入者名前 : 星 辰典

※出向者報告内容 : 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。  
(成果)

志願兵として出向させていただきました。

これからのJCを担うアカデミー生をお預かりする立場なので、可能な限りアカデミー生がやりやすい環境づくりとアカデミー生は入会歴の浅いので、JCへの疑問や悩みを聞いて助言したいという思いを持っておりました。

成果発表で松本理事長が恥をかかないよう最優秀を狙っておりました。中々塾生の出席率が上がらない中、電話やSMSを使ってこまめに連絡をしました。塾内の声掛けもあり、成果発表に向けて一丸となり出席率は向上し、最優秀を獲得することができました。

(反省)

今年のアカデミー委員会は諸問題があり、全体懇親会の回数が減り、塾ごとの開催になってしまいました。

本来アカデミー生は、委員会はもちろんです。懇親会で親睦を深める委員会でありませぬ。その機会を奪ってしまったこと申し訳なく思っております。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

毎年とは言いませんので、少し背伸びをして出向やLOMの役職を受けてみてください。また、ただ参加するのではなく、何かを得ようと思って(目的を持って)参加してください。そうすれば、心揺さぶる体験や価値観が変わります。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会

出向先委員会名 : アカデミー委員会

および役職 : 委員

記入者名前 : 星 直範

※出向者報告内容 : 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(成果)

これまでLOM内のみで活動してきましたが、県内のメンバーと交流できる機会であり、LOM外の活動やマインドに関して意見交換することができる場として出向を楽しみにしていました。実際に出向してみて、同じ悩みを持つメンバーがいたり、解決に向けて一緒に考えることができとてもいい機会となりました。

LOM外のたくさんの仲間と出会い、共に活動した経験は私としても今後の人生においても財産になると思っています。貴重な経験の機会を与えてくれた理事長をはじめ、理事メンバーに感謝します。ありがとうございました。

(反省)

委員会内では、社業やキャリア、JCでの経験も様々なメンバーがいる中で、自分をアピールすることに苦戦しました。積極的に活動することは意識しましたが、委員メンバーに役割を任せてしまうことも多かったので、反省を活かし今後のJC活動に活かしていきたいと思います。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

アカデミー委員会では、JC活動のいろは、マインド、今後のモチベーションアップには最適だと思います。何より、出向しLOM外のメンバーと交流したたくさんの仲間と出会えたことは私にとって非常にいい経験となりました。

出向に対して不安もあるかもしれませんが、出向した今思い返してみると、様々な経験ができ本当に出向して良かったと思っています。是非、皆さんも次年度以降出向できるチャンスがあれば積極的に手を挙げていただきたいと思います。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

出向先名 : 公益社団法人東北地区福島ブロック協議会

出向先委員会名 : 組織連携推進会議

および役職 : 議員

記入者名前 : 松村 俊祐

※出向者報告内容 : 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(成果)

・昨年より、積極的に参加することが出来ました。お勤めと調整をして少し無理をして参加することで、今までの自分自身のキャパが大きくなったと感じました。新春のつどいとブロック大会が主な事業となりましたが、実際に運営に関わることで、自身にも繋がりました。

(反省)

事業構築の際に、議案作成に積極的に参加することが出来ませんでした。指示待ちではなく、自分から行動できるようにしたいと感じました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

仕事あつてのJC活動だと思いますが、10年後、20年度自分に返ってくると信じて少し無理をしてでも出向することで、新たな自分に出会える機会になります。是非次年度は、福島未来創造委員会への出向をお勧めします！

なお、10月25日(金)までにご返信ください。



出向先名 : 福島の未来創造委員会

出向先委員会

および役職: 委員

記入者名前 : 清水 広太

※出向者報告内容: 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(成果)

J Cカップでは、こどもたちに試合の勝ち負けだけではなく相手チームの良かったプレーや試合に関わる人への感謝の気持ちをミーティングで話してもらい、グッドルーザー精神を学ぶ良い機会の提供になりました。最初は、恥ずかしながらでしたが、良い言葉が出始めるとみんな活発に意見の交換をすることができ、こどもたちの成長に繋がる事業となりました。こどもたちが、成長する事業に関わって良かったと思いました。

(反省)

ブロック大会でメタバースの世界を体験できるブースをやりましたが、屋外ということもあり Wi-Fi が上手く機能せず来場者にあまり体験させてあげることができませんでした。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向するのは、やるが増え時間調整が大変な時が多々ありますが、それ以上に新たな出会い、楽しいことが多くある機会です。最初から無理と思わずに、ここになら行ける、行ってみたいと考えてみてください。全部の委員会、事業に参加するのは無理でも大事な事業、必要とされた時に行くくらいの気持ちで最初は出向してみてください。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

出向先名	: ブロック大会実行委員会
出向先委員会名	
および役職	: 委員
記入者名前	: 田中厚

※出向者報告内容：出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点等をご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。

(成果)

二本松、猪苗代、田村と3年連続でプロ大実行委員会に出向させて頂きました。この委員会は、2年後の開催を見越したメンバーが、1年目は委員、2年目は副委員長、そして自分のLOMが主催の年に委員長になる。のように、2年以上に渡り出向ことが多いのが特徴です。

その間、係る人たちの成長も実感できますし、大会を無事に終えられた時の達成感も一入でした。昨年手伝ってくれた人が今年も入っている、なんてことが起きやすい委員会だと思います。

(反省)

会津でPRキャラバンに来てくれた際に、間に合わなかった。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

忙しいタイミングが6月7月にギュッとしているので、集中して出向でき、おすすめです。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

公益社団法人 会津青年会議所 11月例会・納会 出向者報告用

出向先名 : 公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会  
出向先委員会名 総務委員会  
および役職 : 委員  
記入者名前 : 鈴木 亮平

※出向者報告内容 : 出向先での活動内容、成果等の自己評価・反省点などをご記入ください。

どのような思いを持って出向したかや、出向して良かったこと、昨年度より成長した点、今後の目標等を主観で構いませんのでご記入ください。

出向先に参加できなかったメンバーはその機会が作れなかった理由を教えてください。  
(成果)

毎月の議事録だけはやりました。

(反省)

委員会、会員会議所、ブロック大会など出席できずにいました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向はJCとしての成長の機会でもあり、他 LOMの方と知り合いになるきっかけになりますので、是非出向してもらいたいです。

時間を作るなど大変な部分はもちろんありますが、新年会や新春のつどいなどブロックに知り合いがいるのといないのではJCライフも変わってきますので無理してでも行ってもらいたいです。

なお、10月25日(金)までにご返信ください。

## 褒賞委員会

委員長 林 陵平

副委員長 若林信一

委員 田中 厚

委員 鈴木亮平

委員 山口大輔

### ◆ 委員長所感

2024年度を振り返ると、林理事長が掲げる「思いをかたちに」のスローガンに則った、素晴らしい事業がたくさん実施されてきました。

新しく入会した会員も積極的に委員会に参加して活躍をし、初の理事を受けたメンバーも試行錯誤しながら一生懸命その責務を全うしていました。さらに、副委員長をはじめとした理事以外のメンバーもこれまでのJC活動を通して学んだことを活かし、委員会や出向、大会といった様々な機会を通して、多くの経験を学んでいる姿を見ることが出来ました。

褒章に際し、委員長陣に面談を行った際も、たくさんの会員に支えられながら、一年間JC活動・運動を展開できたことを改めて実感できるものとなり、非常に有意義な一年であり、会津青年会議所として、会員一丸となって成長できたものであると確信できました。また、褒章委員会メンバーからも、この人はぜひ褒章しようという非常に前向きな意見も出され、褒章委員会のメンバーがしっかりと会員の活躍を見守っていたことが非常にいいことであり、委員長として非常にうれしく思いました。

最後に、本年褒章された皆様がこれからますます活躍されること、そして会員が一丸となってこれからも活動・運動できる団体であり続けることを祈願いたします。

一年間大変お疲れ様でした。

### ◆ 付託

2024年2月7日（月） 第3回理事会

委員会開催 2024年4月5日（火） 場所 会津青年会議所会館

委員会開催 2024年11月2日（水） 場所 会津青年会議所会館

### ◆ 答申理由

2024年4月6日（水） 第5回理事会

2024年10月28日（金）16時締切の褒賞申請資料及び年間活動アルバムをもとに2024年10月28日（金）会津青年会議所会館において各委員会から提出のあった申請書並びに年間活動アルバムをもとにヒアリングを行い、公益社団法人会津青年会

議所褒賞規定に基づき、褒賞対象者を選出し、推薦者の一員でもある理事長のご確認を頂き褒賞受賞者・受賞委員会を決定させて頂く旨の答申を行った。

2024年11月7日（月） 第12回理事会

2024年11月2日（水）会津青年会議所会館において各委員会各委員会から提出のあった申請書並びに年間活動アルバムをもとにヒアリングを行い、公益社団法人会津青年会議所褒賞規定に基づき、褒賞対象者を選出した結果の答申を行った。

1) 委員会賞

優秀委員会賞 事務局

2) 個人賞

該当なし

3) 新人賞

最優秀新人賞 村崎 健一

### J C 会館管理委員会

委員長 田中 厚

副委員長 山口 大輔

委員 二瓶 孝文 (OB)

委員 深谷瑞比古 (OB)

#### ◆委員長所感

会員の減少に伴い、これまでにないほどの予算の削減や見直しが迫られているなかで、会館の管理についても、今後の自動販売機の在り方など、細かいところまで考えていかなければならない状況となっています。しかし、なかなか踏み込んで決断するところまでには至らず、先送りになってしまったこととお詫びいたします。

次年度以降は、節電や、用紙の節約など、会員一人ひとりの意識改革が特に必要になってくると感じました。そういった意識付けによって捻出された費用が、管理や修繕などに回され、会の好循環に繋がると思います。

#### ◆付託

2024年2月7日 第3回理事会

◆委員会開催

2024年3月30日 会津青年会議所会館にて開催

◆答申内容

2024年4月6日 第5回理事会

1. 会館管理規定について
  - (ア) 会館管理規定については、変更は不要であると判断した。
2. 会館管理規定細則について
  - (ア) 会館管理規定細則については、変更は不要であると判断した。
3. 昨年からの申し送り事項について
  - (ア) 例年通りお盆時期に1回、年末に1回の会館大掃除は必要です。  
⇒例年通り開催する。
  - (イ) 部屋を仕切るアコーディオンカーテンの修繕が必要です。  
⇒検討し、見積もりを取得のうえ進めます。
  - (ウ) 除雪作業に関して、会員同士で連携をして行う。  
⇒専務、事務員と連絡を取りながら、会員同士協力をして早急に対処するようにする。
  - (エ) 夏季の除草については、定期的に行う必要がある。  
⇒会員同士協力し合いながら、除草剤も定期的に使い、日頃から草が生い茂る状態を未然に防ぐようにする。
  - (オ) 今回答申された内容について捻出可能な予算に合わせて当年度の専務及び事務局主導のもと、総務委員会にて実施する。また、次年度への引継ぎ事項として、10月中に委員会を開催し、最終理事会にて次年度への申し送り事項を上げる。
4. 会館内利用状況について
  - (ア) 自動販売機を会館の外に設置する案が出ている。  
⇒館内に設置している自動販売機は、電気代の面から会計を圧迫しているのも現状で、外に設置する案は前向きに検討する必要がある。
  - (イ) 使用できない備品の整理に関して、選別して処分することを検討すべきである。  
⇒昨年に引き続き、整理整頓、処分の検討をする。
5. 会館外利用状況について
  - (ア) 例会時、事業時は必ず借用先に事前に連絡をし、駐車場借用書を提出して注意事項を会員に周知徹底する必要がある。
6. その他
  - (ア) 次年度のために、年度末には、事前に委員会を開催したうえで最終理

事会にて次年度への申し送り事項を報告する。

## 基本財産管理委員会

委員長 鈴木 亮平  
副委員長 山口 大輔  
委員 明田 圭右 (OB)  
委員 奥村 友一 (OB)

### ◆委員長所感

基本財産の管理運用について、昨年度は大規模修繕を行う等大きな動きがあり、本年は次年度以降の財産の安定化を目指し大きな変更は加えませんでした。今後は一般社団法人以降の流れもあり、各機関との調整を実施していただきたいとの願いを込めて所感にかえさせていただきます。

### ◆付託

2024年2月7日 第3回理事会

### ◆委員会開催

2024年10月30日 会津青年会議所会館にて開催

### ◆答申内容

2024年11月30日 最終理事会

## 会員資格審議委員会

委員長 田中 厚  
副委員長 松村 俊祐  
委員 堺野 美将  
委員 長谷川孝洋

### ◆委員長所感

本年度は拡大目標を10名としておりましたが、サポータ会員2名の入会にとどまりました。会員が年々減少している状況のなかいかに会全体で会員拡大のモチベーションを維持できるのかを念当初考えました。

そこで入会までを逆算して拡大活動が出来るよう原則入会月を3、6、9月とさせてい

ただきましたが、現実に入会熱が高いうちに入会させたいということもあり各月での入会となりました。それ以上に毎月委員会を開く予定ではあったがなかなか開くことがかなわず、そのことが会員拡大がうまくいかなかった理由の一つであると反省しました。今年は6名卒業となったため、会津青年会議所を存続させるためにも影響力のある運動を展開するためにも次年度は会員拡大を成功させなければいけません。

最後に、鈴木理事長をはじめとする候補者への声掛け・情報提供など会員拡大にご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げ、委員長所感とさせていただきます。

◆ 付託

2023年11月25日 第3回理事会

◆ 答申内容

2024年8月8日 第9回理事会

1) 入会受付期間について

原則は3月、6月、9月を入会月とすることを前提とする。

理由①何月までに入会させるにはいつまでに声掛け、例会・事業への参加をしなければいけないのかを逆算をして計画的に進めていく意識を統一させるため

②同期入会でも同じ理事会で入会した方が新入会員の結束・同期意識が高まると考えるため

ただし、例外として入会意思が高い入会候補者がいる場合は上記の月に関わらず入会を審議することを認める。四役会、会員資格審議委員会で同意が得られる場合に限る。

2) 会員拡大に関する事項

(1) 入会条件に関して

1 例会参加と1事業もしくは1委員会の参加を入会条件とする。

理由 これまでは1事業、2例会を条件としていたが候補者の都合もあり、参加できない事業があると入会条件を満たすまでに4～5か月かかってしまうことがある。当会議所でも会員減少は深刻な問題であり、早期に入会してもらい即戦力となる会員を育てていきたいと考えるため。

(2) 入会オリエンテーションの開催に関して

入会前の開催もしくは入会后2ヶ月以内に開催する。

理由 近年候補者が集まらず開催していない状況である。2ヶ月猶予を持つことで1人や2人といった少人数でなく、5～6名程度まとまった人数で開催でき



る。

### 3) サポーター会員について

これまでサポーター会員についての定義についてはこちらを確認下さい。(2020年度会員資格審議委員会答申より)

#### (1) 2年運営してきて見えてきた課題

- ・原則2年としていたがサラリーマンに関して正会員になるのは難しい
- ・自分の給料から会費を捻出しなければならない。(実際は会費以上に出費が多いのが事実)
- ・会社員である以上勤務時間の制約があり、時間の調整ができない。
- ・参加意欲の薄い人(参加率が低い)でも残れてしまう。
- ・現在会津青年会議所では会員数の減少によりサポーター会員がいないと人員が不足するのが現状。

#### (2) 来年からの対応

サポーター会員規定を明確に定め、入会時に説明し、継続に期限を設けることでサポーター会員の活性化を図る。

##### ◆サポーター会員の入会条件

- サラリーマン(経営者の親族関係にない)であること。
- サポーター年会費(25,000円)を年度初めに支払う。
- 入会時36歳以下である。

##### ◆サポーター会員の継続条件

- 年度末に三役・四役と面談を行い、理事会で審議を図る。
- 継続は2年迄とする。

- ① 例会(事業)参加率60%以上(ブロック事業は含まないが総会は含む)
- ② 所属委員会出席率60%以上

#### (3) その他

- ・サポーター会員は最大で4名までを上限とする。
- ・入会申込書にはそれぞれの入会、継続要件を記載したもので今後は記載してもらう。別紙参照

#### (4) その他

会員拡大会議は月 1 回程度を目安に短時間で開催し、参加してくれた会員が学びを得られるような内容に設えを作るようにする。

以上

## 9. 備品明細

品名	数	備品 NO.	摘要
J C ゴング	1	NO. 1	
手提金庫	2	NO. 2 , 91	
黒板	2	NO. 11 , 39	
スチール書庫	3	NO. 14 , 56、78	
カメラ (ヤシカエレクトロ35)	1	NO. 18	
スチールロッカー	3	NO. 20 , 21、42	寄贈品
J C 旗	5	NO. 22	
国旗	9	NO. 23	
スチール書棚	2	NO. 24 , 25	
スチール書庫	5	NO. 26 , 27、46、48	記念品
計量機	2	NO. 29 , 116	
ラジオ付カセットテープレコーダー	1	NO. 31	寄贈品
チェックライター	1	NO. 33	
腕章	83	NO. 34	
印伴天	20	NO. 35	
会議用スチール机	2	NO. 36 , 37	記念品
拡声装置付演台	1	NO. 40	寄贈品
スチール更衣ロッカー	1	NO. 44	
賞状盆	1	NO. 47	
ワッペン帽子	12	NO. 49	
映写機 (エルモ S T - 1200)	1	NO. 52	記念品
スチール椅子	1	NO. 54	
スチール椅子	67	NO. 55	寄贈品
暖房機	3	NO. 57 , 125、126	寄贈品
木製机	3	NO. 58 , 93、94	
スチール書庫	1	NO. 59	寄贈品
折りたたみスチール机	15	NO. 60	
応接セット	一式	NO. 63	記念品
スリッパ	150	NO. 64	
瞬間湯沸機	1	NO. 65	寄贈品
紙断裁機	1	NO. 66	寄贈品
クーラー	1	NO. 67	寄贈品
新聞架	1	NO. 69	
アルミサッシ 網戸一式	1	NO. 70	
傘立	1	NO. 71	寄贈品
折りたたみスチール机	2	NO. 72	寄贈品
案内板	1	NO. 73	記念品
カメラ (フジカオートフォーカス)	1	NO. 77	寄贈品
レターケース (7段組)	2	NO. 79 , 81	
スチール製書庫	1	NO. 80	
ビクターアンプ拡声装置	一式	NO. 83	寄贈品
J C 旗パネル	1	NO. 84	寄贈品
国旗パネル	1	NO. 85	寄贈品
スチール椅子	60	NO. 86	寄贈品
大型耐火金庫	1	NO. 86	寄贈品
パネル時計	1	NO. 87	寄贈品
拡声機	1	NO. 88	寄贈品
ネームプレート収納板	1	NO. 89	
掃除機	1	NO. 90	寄贈品
スクリーン	1	NO. 92	
布バリ椅子	1	NO. 95	記念品
携帯用テープレコーダー	1	NO. 97	
携帯用テープレコーダー	1	NO. 98	寄贈品
石油ストーブ	2	NO. 99 , 100	記念品
投票箱	1	NO. 105	
折りたたみスチール椅子	32	NO. 106	
ホワイトボード	1	NO. 107	
ワードプロセッサースタンド	1	NO. 108	
回転帳簿立	1	NO. 111	

品名	数	備品 NO.	摘要
カーテン一式	19	NO. 112	
冷蔵庫	1	NO. 115	寄贈品
パソコンディスプレイ (H11寄贈)	1	NO. 120	寄贈品
パソコンラック	1	NO. 122	
印刷機	1	NO. 123	寄贈品
ビデオモニター	一式	NO. 127	
カメラ (コニカ)	1	NO. 132	
OHPスクリーン	1	NO. 134	
カメラ	1	NO. 135	寄贈品
エアコン 応接室	1	NO. 136	寄贈品
レーザープリンター	1	NO. 138	寄贈品
ラック	1	NO. 139	寄贈品
アンプ	1	NO. 140	寄贈品
カラーテレビ	1	NO. 141	寄贈品
MOドライブ	1	NO. 142	
デジタルカメラ (オリンパス)	1	NO. 143	
インクジェットプリンター (CANON)	1	NO. 144	
ISDNターミナルアダプタ	2	NO. 145	、56、78
折りたたみスチール机	1	NO. 146	寄贈品
テープレコーダー	1	NO. 147	
デジタルビデオカメラ一式	1	NO. 148	
パソコン (H15寄贈)	1	NO. 149	寄贈品
折りたたみスチール椅子	16	NO. 150	寄贈品
LAN折りたたみスチール机	7	NO. 151	
ICレコーダー	1	NO. 153	
パソコン 本体	1	NO. 154	寄贈品
パソコンディスプレイ	1	NO. 155	寄贈品
会議用暖房機	1	NO. 156	
プロジェクター	1	NO. 157	
トランシーバー	一式	NO. 158	
デジタルビデオ	3	NO. 159	
シュレッダー	3	NO. 160	
半天 (公社) 会津青年会議所	50	NO. 162	寄贈品
のぼり (公社) 会津青年会議所	30	NO. 163	寄贈品
のぼり用ポール	30	NO. 164	寄贈品
外付けハードディスク	1	NO. 165	
ノートパソコン	1	NO. 166	H26寄贈品
プリンター	1	NO. 167	H26購入
一眼レフカメラ	一式	NO. 168	H27購入
ICバックボード	1	NO. 169	R3寄贈品
パソコンディスプレイ	1	NO. 170	R5寄贈品
冷蔵庫	1	NO. 171	

公益社団法人 会津青年会議所

2024年度 会計決算報告

収入の部			2024年度 予算	2024年度 修正予算	2024年度 決算	差異	備	要
大	中	小						
事業活動収入	① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	226	226	227	1	基本財産の受取利息	
		特定資産運用収入	21	21	19	-2	特定資産の受取利息	
	② 入金金収入	受取入金金収入	845,000	650,000	390,000	-260,000	#65,000×6人	
		入金金収入	0	0	0	0		
	③ 会費収入	正会員年会費収入	2,375,000	2,375,000	2,375,000	0	#125,000×19人	
		正会員年会費収入	780,000	600,000	240,000	-360,000		
		賛助会員年会費収入	0	0	0	0	賛助会員なし	
		特別会員年会費収入	120,000	120,000	120,000	0	#30,000×6人(2023年度卒業生5名)	
		サボーター年会費収入	75,000	75,000	25,000	-50,000	#25,000×2人 1名分正会員繰り入れ	
		計	3,350,000	3,170,000	2,760,000	-410,000		
	④ 事業収入	事業費補入収入	0	0	0	0		
		登録料収入計	15,000	15,000	74,000	59,000		
		わんぱく相撲登録料	15,000	15,000	14,000	-1,000	500円×28人=合計14,000円	
		ひと・まち委員会事業	0	0	52,000	52,000	総ろうそくまつり総付け体験費用	
		総務事業	0	0	8,000	8,000	4月例会 会員の意識改革を促す事業	
		三役事業	0	0	0	0		
		広域売買取入	0	0	0	0		
		広域業務委託収入	50,000	50,000	50,000	0	例会事務委託費 50,000円	
		常務・会議室料収入	0	0	0	0		
		雑収入	65,000	65,000	124,000	59,000		
計		0	0	0	0			
⑤ 補助金等収入	国庫補助金収入	0	0	0	0			
	地方公共団体補助金収入	500,000	500,000	373,130	-126,870	9月例会 ポスター事業		
	民間補助金収入	3,000,000	2,181,549	2,181,549	0	会津総ろうそくまつり実行委員会(総ろうそくまつり補助金として)		
	民間助成金収入	0	0	0	0			
計	3,500,000	2,681,549	2,554,679	-126,870				
⑥ 寄付金収入	寄付金収入	100,000	100,000	50,000	-50,000	08協賛金として		
	募金収入	0	0	0	0			
計	100,000	100,000	50,000	-50,000				
⑦ 雑収入	受取利息収入	0	10	83	73	利息		
	その他の雑収入	0	-	370	370	カード預付金370円		
計	0	10	453	443				
⑧ 他会計からの収入	一般会計からの繰入金収入	0	0	0	0			
	特別会計からの繰入金収入	0	0	0	0			
	基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0			
計	0	0	0	0				
事業活動収入計		7,850,247	6,666,806	5,879,378	-787,428			

支出の部		2024年度 予算	2024年度 修正予算	2024年度 決算	差異	備
① 事業費支出	中					
	小					
	事業費支出	0	0	0	0	7月例会 ブロック大会
	< 四 役 >	0	0	0	0	10月例会 参加上昇セミナー
	小計	0	0	0	0	
	< 総務委員会 >	150,000	149,080	149,080	0	1月例会 新年会
		30,000	30,000	13,830	-16,170	4月例会 会員の異動改革を促す事業
		20,000	20,000	13,200	-6,800	11月例会 納会
	小計	200,000	199,080	176,110	-22,970	
	< ひと・まち委員会 >	3,000,000	2,233,549	2,233,549	0	2月例会 ねろうそくまつり
		250,000	250,000	219,847	-30,153	5月例会 わんぱく相撲
		100,000	0	0	0	事業未実施
	小計	3,350,000	2,483,549	2,453,396	-30,153	
	< 事務局 >	100,000	70,000	70,880	880	3月例会 人を繋がりリーダーシップ
		0	0	0	0	6月例会 まちの憩園
		700,000	700,000	447,901	-252,099	9月例会 ポスター事業
	小計	800,000	770,000	518,781	-251,219	
	委員会運営費支出	0	0	0	0	
	事業予備費支出	0	0	0	0	
	合計	4,350,000	3,452,629	3,148,287	-304,342	
② 管理費支出	除	735,683	699,813	680,595	-19,218	事務局員費(91日・基本給・残業・交通費等)
	退職給付費用	0	0	0	0	
	福利厚生費	0	0	0	0	労働保険料
	金 庫 費	5,000	5,000	0	-5,000	総会費書代
	旅費交通費	0	0	0	0	
	通信運搬費	250,000	230,000	211,893	-18,107	電話電報代・平賃状・FAX代・切手代・PC等
	減価償却費	277,518	277,518	277,518	0	
	消耗什器備品費	0	0	0	0	
	消耗品費	100,000	40,000	36,923	-3,077	レター・封筒・コピー用紙・印刷代
	修繕費	0	0	0	0	
	印刷製本費	213,000	213,000	206,800	-6,200	会員手帳
	燃料費	50,000	30,000	26,249	-3,751	灯油代
	光熱水料費	320,000	270,000	252,810	-17,190	電気・ガス・水道代
	賃借料	419,440	419,440	427,755	8,315	地代・3Dプリンター・AED付・材料
	保険料	47,900	47,900	47,900	0	火災保険料
	損 失	0	0	0	0	
	租 税 公 課	0	0	0	0	登記料・収入印紙代
	渉 外 費	30,000	30,000	88,800	58,800	わんぱく・書具・報償・留税・協賛
	業務委託費	150,000	130,000	125,400	-4,600	IT・管理費等・印刷・ホームページ作成運賃
	広 告 費	49,700	49,500	77,000	27,500	年賀及び一紙広告代
	税金品費	0	0	0	0	
	雑 費	130,000	100,000	116,948	16,948	福祉職員手取料・新聞代 新入会員関連・IT・監代理事長備品
	管理・運営予備費	0	0	0	0	
	計	2,778,241	2,542,171	2,576,591	34,420	
③ 負担金	支払い・協賛負担金	0	0	0	0	
	J C I 負担金	46,956	46,956	46,956	0	@2236×21名
	日本 J C 負担金	30,000	30,000	30,000	0	基本金30,000 (50人以下予定のため)
	日本 J C 付加金	170,000	110,000	195,000	-5,000	付加金@5,000×21人
	日本 J C 出向者負担金	0	0	0	0	基本金@20,000×0名
	東北地区協議会負担金	5,000	5,000	5,000	0	基本金5,000
	東北地区協議会付加金	51,000	51,000	33,000	-18,000	付加金@1,500×21人 追加前記入金1名
	東北地区協議会出向者負担金	0	0	0	0	
	福島ブロック協議会負担金	35,000	35,000	35,000	0	基本金35,000
	福島ブロック協議会付加金	110,000	110,000	110,000	0	付加金@5,000×21人
	国際協力資金	62,050	62,050	38,325	-23,725	@1825×21人
	機関誌刷部料	102,000	102,000	63,000	-39,000	We Believe! 購読料#3,000×21名
計	612,006	552,006	466,281	-85,725		
④ 他会計への支出	一般会計への繰入金支出	0	0	0	0	
	特別会計への繰入金支出	0	0	0	0	
	基金会計への繰入金支出	120,000	120,000	120,000	0	@20,000×6人
計	120,000	120,000	120,000	0		
⑤ その他支出		0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	
事業活動支出計		7,860,247	6,666,806	6,311,159	-355,647	
事業活動収支差額		0	0	-431,781	-431,781	

正味財産増減計算書

2024年11月30日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減	適用
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	227	226	1	
基本財産受取利息	227	226	1	定期預金(東邦銀行)
基本財産受取配当金			0	
基本財産受取賃貸料			0	
特定資産運用益	19	21	△ 2	
特定資産受取利息	19	21	△ 2	定期預金(東邦銀行)
特定資産受取配当金			0	
特定資産受取賃貸料			0	
受取入金金	390,000	0	390,000	
受取入金金	390,000	0	390,000	@65,000×6人
受取会費	2,760,000	3,265,000	△ 505,000	
正会員会費	2,375,000	3,125,000	△ 750,000	@125,000×19人
新入会員会費	240,000	0	240,000	0
賛助会員会費	0	0	0	
特別会員会費	120,000	40,000	80,000	@20,000×6人(2023年度卒業生6名)
サポーター会員会費	25,000	100,000	0	@25,000×2人 1名分正会員繰り入れ
事業収益	124,000	128,500	△ 4,500	
登録料収益	74,000	78,500	△ 4,500	500円×28人=合計14,000円
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	50,000	50,000	0	OB会事務委託費 50,000円
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	2,554,679	2,461,086	93,593	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	373,130	0	373,130	
受取民間補助金	2,181,549	2,461,086	△ 279,537	会津絵ろうそくまつり実行委員会 (絵ろうそくまつり補助金として)
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
受取寄付金	50,000	720,000	△ 670,000	
受取寄付金	50,000	720,000	△ 670,000	OB協賛金として
募金収益	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	453	1,337,639	△ 1,337,186	
受取利息	83	8	75	
特別会計からの繰入金収入	0	1,310,745	△ 1,310,745	照明器具交換(638,000)赤字補填(672,745)
雑収益	370	26,886	△ 26,516	カード還付金370円
経常収益計	5,879,378	7,912,472	△ 2,033,094	



科目名	当年度	前年度	増減	適用
(2)経常費用				
事業費	3,867,673	5,164,114	△ 1,296,441	
給料手当	221,091	366,399	△ 145,308	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	0	4,519	△ 4,519	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	32,540	△ 32,540	
通信運搬費	116,712	212,535	△ 95,823	
減価償却費	138,759	138,759	0	
消耗什器備品費	48,290	6,600	41,690	
消耗品費	1,253,786	2,317,985	△ 1,064,199	
修繕費	30,647	0	30,647	
印刷製本費	293,700	430,650	△ 136,950	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	82,125	126,543	△ 44,418	
賃借料	163,556	377,177	△ 213,621	
保険料	83,181	52,921	30,260	
諸謝金	77,000	97,872	△ 20,872	
租税公課	0	0	0	
渉外費	345,135	486,650	△ 141,515	
業務委託費	484,880	174,603	310,277	
広報費	211,363	33,000	178,363	
記念品費	267,620	268,792	△ 1,172	
雑費	46,198	36,569	9,629	
管理・運営予備費	3,630	0	3,630	
負担金	0	0	0	
			0	
			0	
管理費	2,330,486	2,413,767	△ 83,281	
給料手当	459,504	549,597	△ 90,093	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	0	6,780	△ 6,780	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	143,061	144,536	△ 1,475	
減価償却費	138,759	138,759	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	24,929	34,344	△ 9,415	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	206,800	206,800	0	
燃料費	26,249	23,132	3,117	
光熱水料費	170,685	189,815	△ 19,130	
賃借料	288,799	316,656	△ 27,857	
保険料	32,339	28,739	3,600	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	88,800	30,000	58,800	
業務委託費	125,400	149,336	△ 23,936	
広報費	77,000	0	77,000	
記念品費	0	0	0	
雑費	81,880	55,548	26,332	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	466,281	539,725	△ 73,444	
基本財産評価損益等	0	0	0	
基本財産評価損益等			0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等			0	
経常費用計	6,198,159	7,577,881	-1,379,722	
評価損益等調整前当期経常増減額	-318,781	334,591	△ 653,372	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	-318,781	334,591	△ 653,372	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益			0	
車両運搬具売却益			0	
什器備品売却益			0	
土地売却益			0	
借地権売却益			0	
電話加入権売却益			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
建物売却損			0	
車両運搬具売却損			0	
什器備品売却損			0	
土地売却損			0	
借地権売却損			0	
電話加入権売却損			0	
固定資産減損損失	0	0	0	
土地減損損失			0	
投資有価証券減損損失			0	
災害損失	0	0	0	
災害損失			0	
経常外費用計	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-318,781	334,591	△ 653,372	
一般正味財産期首残高	15,527,451	16,180,198	△ 652,745	
一般正味財産期末残高	15,208,670	16,514,787	△ 1,306,117	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
受取国庫補助金			0	
受取地方公共団体補助金			0	
受取民間補助金			0	
受取国庫助成金			0	
受取地方公共団体助成金			0	
受取民間助成金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金			0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
基本財産評価益	0	0	0	
基本財産評価益			0	
特定資産評価益	0	0	0	
特定資産評価益			0	
基本財産評価損	0	0	0	
基本財産評価損			0	
特定資産評価損	0	0	0	
特定資産評価損			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
一般正味財産への振替額			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	15,208,670	16,514,787	△ 1,306,117	









【西平煤业财务报表】 | 0 | 0 | 0 | -46.285 | -49.285 | 0 | 0 | 0 | -95.209 | -91.208 | 0 | 0 | 0 | 0 | -37.810 | -102.219 | 881,031 | 781,227

2024年度貸借対照表  
2024年11月30日現在

(単位:円)

科目	今年度決算	前年度決算	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	332,759	536,612	△ 203,853
立替金		0	0
未収入金	523,130	0	523,130
事業仮払金		0	0
その他仮払金		0	0
流動資産合計	855,889	536,612	319,277
2.固定資産			0
(1)基本財産			0
預金	11,333,300	11,333,300	0
土地	0	0	0
建物	1,550,902	1,828,420	△ 277,518
構築物	0	0	0
基本財産合計	12,884,202	13,161,720	△ 277,518
(2)特定資産			0
JC会館修繕積立金	1,096,723	976,723	120,000
特定費用準備資金	0	0	0
特定資産合計	1,096,723	976,723	120,000
(3)その他固定資産			0
什器備品	0	0	0
出資金	0	0	0
絵画	50,000	50,000	0
その他固定資産	1	1	0
その他固定資産合計	50,001	50,001	0
<b>資産の部合計</b>	<b>14,886,815</b>	<b>14,725,056</b>	<b>161,759</b>
<b>II 負債の部</b>			0
1.流動負債			0
未払金	300,000	0	300,000
預り金	0	0	0
前払い金			0
仮受金			0
流動負債合計	300,000	0	300,000
2.固定負債			0
事業積立資産引当金			0
固定負債合計	0	0	0
<b>負債の部合計</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	<b>300,000</b>
<b>III 正味財産の部</b>			0
1.指定正味財産			0
補助金			0
寄付金			0
指定正味財産合計	0	0	0
(内、特定資産への充当額)			0
2.一般正味財産			0
一般正味財産	15,291,311	14,725,056	566,255
一般正味財産合計	15,291,311	14,725,056	566,255
(内、特定資産への充当額)	(内936,723)	(内2,247,468)	
正味財産合計	15,291,311	14,725,056	566,255
当期正味財産増加額	△ 404,496	0	△ 404,496
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>14,991,311</b>	<b>14,725,056</b>	<b>266,255</b>



貸借対照表（内訳）

2024年11月30日現在

（単位：円）

科目	公益目的 事業会計	その他事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	0	0		0	0
東邦銀行一之町支店	0	0	332,759	0	332,759
未収入金(事業)	0	0	373,130	0	373,130
未収入金(会費)			150,000		150,000
流動資産合計	0	0	855,889	0	855,889
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
預金	11,333,300	0		0	11,333,300
建物	1,231,273	319,449		0	1,550,722
構築物					0
基本財産合計	12,564,573	0	0	0	12,884,022
(2) 特定資産					
JC会館修繕積立金	0	0	1,096,723	0	1,096,723
事業準備積立金	0	0	0	0	0
特定資産合計	0	0	1,096,723	0	1,096,723
(3) その他固定資産					
絵画			50,000		50,000
構築物			1		1
その他固定資産合計	0	319,449	50,001	0	50,001
固定資産合計	12,564,573	319,449	1,146,724	0	14,030,746
資産合計	12,564,573	319,449	2,002,613	0	14,886,635
<b>II 負債の部</b>					0
1. 流動負債					0
未払金			300,000		300,000
預り金			0		0
流動負債合計	0	0	300,000	0	300,000
2. 固定負債					0
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	300,000	0	300,000
<b>III 正味財産の部</b>					0
1. 指定正味財産					0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)					0
(うち特定資産への充当額)					0
2. 一般正味財産	12,564,573	319,449	1,702,613	0	14,586,635
(うち基本財産への充当額)	(内11,333,300)			0	(内11,333,300)
(うち特定資産への充当額)			(内2,807,268)	0	(内2,807,268)
正味財産合計	12,564,573	319,449	1,702,613	0	14,586,635
負債及び正味財産合計	12,564,573	319,449	2,002,613	0	14,886,635

**財産目録**  
2024年11月30日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手元保管		
	預金	普通預金 東邦銀行一之町支店	運営資金として	0
	退職給与引当金預金			0
	未収入金			523,130
<b>流動資産合計</b>				<b>523,130</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	定期預金	東邦銀行一之町支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の事業に充当している。	11,333,300
<b>特定資産</b>	建物	169.29㎡ 320㎡	公益目的保有建築物として所有している 公益目的保有建築物として所有している	1,828,420
	JO会館積立金	定期預金 東邦銀行一之町支店1年	保有建築物の修繕、改築のための積み立て資金として管理している	1,096,723
	特別事業積立金	定期預金 東邦銀行一之町支店1年	事業実施のための積立資金として管理している	0
<b>その他の固定資産</b>				
		絵画五十嵐二部20号		50,000
<b>固定資産合計</b>				<b>14,308,444</b>
<b>資産合計</b>				<b>14,831,574</b>
<b>(流動負債)</b>				
	預り金 未払金	従業員に対するもの 翌月支払い分	職員社会保険料預り金 管理費支出費(立替30万円)	300,000
<b>流動負債合計</b>				<b>300,000</b>
<b>(固定負債)</b>				
	退職給与引当金			0
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>
<b>負債合計</b>				<b>300,000</b>
<b>正味財産</b>				<b>14,531,574</b>

会費 15000、補助金373130

※注記で減価償却を入れて算出した金額  
※駐車場は償却済みで1円

メモ  
2022年度の未払い金内訳

合計 0

財務諸表に関する注記

2024年11月30日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定額法により行う。

(4) 引当金の計上基準

退職金給与引当金……現在の雇用条件を鑑み退職給与引当金は未計上とした。

(5) キャッシュフロー計算書における資金の範囲

金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前受金、前受金及び立替金、預り金を含めることにしている。なお、前期及び当期末残高は7に記載するとおりである。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

2011年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を適用する。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

単位:円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,333,300	0	0	11,333,300
建物	1,828,420	0	277,518	1,550,902
駐車場	1	0	0	1
小計	13,161,721	0	277,518	12,884,203
合計	13,161,721	0	277,518	12,884,203
特定資産				
JC会館積立金	976,723	120,000	0	1,096,723
事業準備積立金	0	0	0	0
小計	976,723	120,000	0	1,096,723
合計	976,723	120,000	0	1,096,723

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

単位:円

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産		0	0	0
定期預金	11,333,300	0	0	0
建物	1,550,902	0	0	0
駐車場	1	0	0	0
小計	12,884,203	0	0	0
合計	12,884,203	0	0	0
特定資産		0	0	0
JC会館積立金	1,096,723	0	120,000	0
事業準備積立金	0	0	0	0
小計	1,096,723	0	120,000	0
合計	1,096,723	0	120,000	0

6. 担保に供している資産  
該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価格	本年度償却額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	10,317,090	0	10,317,089	1	昭和53年取得 定額法24年 残存価格5%
建物	3,300,000	0	3,299,999	1	平成元年取得 (フロー増築) 定額法24年
建物	2,814,000	106,369	2,493,341	320,659	平成12年7月取得 (トイレ増築) 定額法24年
駐車場	400,000	0	399,999	1	昭和52年取得 定額法10年 残存価格5%
建物	4,074,993	171,149	2,567,235	1,507,758	平成21年取得 定額法24年 (フロー改修) 残存価格5%
合計	20,906,083	277,518	19,077,663	1,828,420	

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

単位:円

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	当期末残高
預り金	0	0	0
未払金	0	0	0
合計	0	0	0

9. 保証債務等の偶発債務  
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

単位:円

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
会津絵ろうそくまつり運営委託費	会津まつり協会	0	2,461,086	2,461,086	0	残高0の為なし
共同事業補助金	会津若松市	0	373,130	373,130	0	
合計		0	2,461,086	2,461,086	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

内 容	金 額
該当なし	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容  
該当なし。
15. キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし。
16. 重要な後発事象  
該当なし。
17. その他  
該当なし。

## 決算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### ①固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は定額法をより行う。

#### ②引当金の計上基準について

退職金給与引当金・・・現在の雇用条件を鑑み退職金給与引当金は未計上とした。

#### ③資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前受金、前受金及び立替金、預り金を含めることにしている。なお、前期及び当期末残高は3に記載するとおりである。

#### ④消費税等の処理方式について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金	240,167	8,277
退職給与預金	0	0
前払金	0	0
合計	240,167	8,277
預り金	3,400	4,162
未払金	86,121	0
退職給与引当金	0	0
合計	89,521	4,162
次期繰越収支差額	150,646	4,115

### 3 減価償却累計額一覧

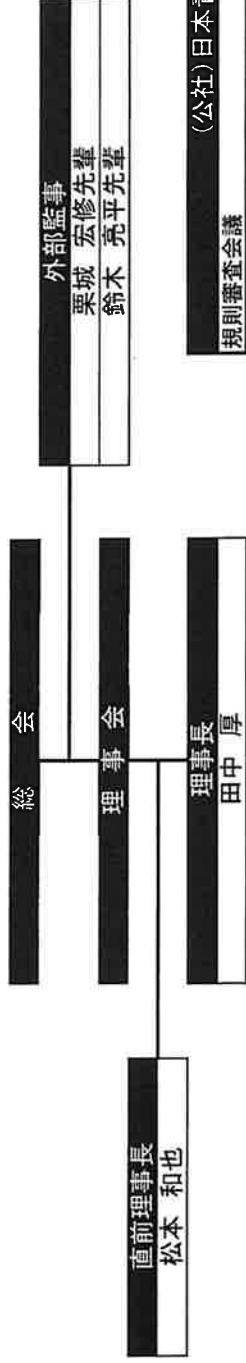
科目	取得価格	本年度償却額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	10,317,090	103,170	10,110,746	206,344	昭和53年取得 定額法24年 残存価格5%
建物	3,300,000	124,740	2,726,460	573,540	平成元年取得 (フロー増築) 定額法24年
建物	2,814,000	106,369	1,216,913	1,597,087	平成12年7月取得 (トイレ増築) 定額法24年
駐車場	400,000	5,000	395,000	5,000	昭和52年取得 定額法10年 残存価格5%
建物	4,074,993	171,149	513,447	3,561,546	平成21年取得 定額法24年 (フロー改修) 残存価格5%
合計	20,906,083	510,428	14,962,566	5,943,517	

公益社団法人 会津青年会議所

2025度  
事業計画書・予算書

自 2024年12月 1 日  
至 2025年11月30日

# 2025年度組織図



規則審査会議	委員	山口 大輔
(公社)日本青年会議所 東北地区協議会	議長	山口 大輔
財政規則審査会議	総括幹事	清水 広太
(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会	委員長	松村 俊祐
福島の未来創造委員会	総括幹事	長谷川 孝洋
アカデミー委員会	委員	早尾 武三 多門 正崇
組織連携推進委員会	委員	添田 将
福島リレーション委員会	委員	中村 祥平
ブロック大会実行委員会	委員	高橋 汐紀
総務広報委員会	委員	大竹 史泰

委員会名	総務委員会	ひと・まち委員会
委員長	村崎 健一	若林 信一
副委員長	清水 広木	添田 将
委員	大竹 史泰 一重 卓冬 高橋 汐紀 多門 正崇	中村 祥平 長谷川 孝洋 早尾 武三 根本 翔(サ)

※(サ)サポーター会員



## 理事長所信

第69代理事長 田中 厚

### 【はじめに】

会津青年会議所は昭和26年より、明るい豊かな社会の現実を目指し、時代に沿った様々な取り組みに挑戦した先輩方が、今日までバトンを繋いで来られました。

いまや世界は第四次産業革命の到来を目前にしています。テクノロジーの発展は目まぐるしく、人々の価値観の多様化が進んでいます。

国内に目を向けると、地方では少子高齢化、労働人口比率の減少、社会保障の増加が課題となっています。1970年代に未来予測として問題視されたこれらの課題は、現在、逃れようのない事実として無視の出来ない所まで深刻化しております。50年間の緩やかな下り坂の先に何があるのか、青年会議所は現在の立ち位置を明確にし、やるべきことへの一歩を踏み出さなければなりません。

これから先は誰かが何とかしてくれる時代ではなく、地域が、そしてそこに住む人材が、自分達の力で生きていくという気概を持つ事こそ、これからの時代を生き抜く為に重要です。そして会津にはそれを叶えるだけの可能性があるかと信じています。

我々が暮らす会津は、四方を山々に囲まれ、水が良く、風土が良く、歴史文化に恵まれた非常に資源豊かな地域です。グローバル化が進む中で、平均に埋もれず個性を出していく事はこれからの時代で最大の強みになると考えます。

地域資源を誇り、仲間を増やし、地域課題を共有する。その交流こそが地域発展のエネルギーになります。成長と交流の機会を創出し、地域課題に取り組む人材を輩出する事が、会津青年会議所が行う一番価値のある事だと考えます。

### 【会津の可能性を伸ばす】

会津には豊富な資源があり、文化歴史の魅力を広く発信する事は、会津の発展に繋がります。しかしその反面、歴史ある物は形骸化しやすい場合もあり、残すべきものと変えていくべきものを常に考えねば、資源を活かしきることは出来ません。

日本と同様に労働人口が減少したヨーロッパや中国では、先んじてイノベーションに投資した事で成功例を生み出していますが、その土地の文化や風土によって取り組む内容は変わってきます。会津という地域に求められているものを見つめ直し、今ある資源の強みを更に活かすことで、会津の価値を磨くことが出来ます。

また、未来への投資として、子どもたちの健やかな成長は欠かせません。時代の変化やテクノロジーの発達は子どもたちに様々な影響を与えます。それら長短ある影響をどのように子どもたちに与え、育てていくかは大人側の責任です。スマートフォンや通信環境の

発達により、デジタルから知識を得て才能を伸ばす世代や、グローバルな視野を持つ世代も増えてきています。しかし、子どもたちの成長にとっていつの時代も変わらぬ大切な経験があります。それは、挑戦し、失敗や成功をするというアナログな体験をするということです。特に失敗してもやり直せるという気持ちを醸成することは、人間力を磨き、これからのイノベーションを起こす人材への育成に欠かせないものとなります。

地域の価値、子どもたちの価値を磨く事が、会津の可能性を伸ばす事に繋がります。

#### 【持続可能な組織運営の構築】

青年会議所には多くの学びの機会があります。その一つが組織運営です。会議の運営や段取り、資料の作り込みは精度が高く、青年会議所内で学んだ事を外で活かせる場面は数多く訪れます。そのような組織運営を実践し学んでいく中で、これまで残してきた運用方法などを次世代の会員に引き継いで行く事もまた重要な運営要素となります。

ただ引継ぐのではなく、生産性の向上や効率化を常に図る必要があります。単純作業や面倒な作業に陥る場面は少なくなく、「なぜこの業務を行うのか」という目的意識が曖昧になると、本来の青年会議所運動の本質を見失う危険性があります。

単年度制により毎年組織が変わる団体であるからこそ、一つ一つの取り組みに対し「何のためにこの業務があるのか」に都度立ち返り、改善していく姿勢が、青年会議所としての組織運営の在り方だと思います。限られたリソースを本当に必要なところに集中できる体制作りが持続可能な組織を構築します。

#### 【会員拡大こそ地域貢献】

国際青年会議所では「青年会議所が若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる」をビジョンとして掲げています。これを会津青年会議所に置き換えると、「会津の青年世代のネットワークを先導する」となり、地域に根付いた人材が横の繋がりを持つ事こそ、地域発展に欠かせないものと考えます。

そして、繋がりは一入会だけで成せるものではありません。共に地域の課題を知り、現場の声を聴き、会員それぞれの理念や想いを共有する事で醸成されます。青年会議所運動を通じて養われた繋がりこそ、様々な技術や経験を持った人材がフラットに連携するこれからの時代において、会津を支える大きな力となります。

#### 【顔が見える運動の発信】

青年会議所は自地域から世界までのネットワークが広がっています。また、多くの卒業された先輩方との繋がりも、現役会員にとって大きな資産であると考えます。しかし、いっどこで誰がどんな運動をしているのか、どんな学びがあるのか、知らなければ存在しない事と同じになってしまいます。また、送り出す家族や会社への理解は、言葉の説明では得られないものがあります。

SNSにより、活動や会員の見える化を行う事で、スケールメリットや活動規模を等身大で伝える事が出来ます。熱量や大変さ、楽しさをありのままに発信する事が、これからの時代では信頼に繋がり、求心力を生みます。

#### 【人との出会いが未来を創る】

会津青年会議所は、昭和56年にむつ青年会議所、平成9年に函館青年会議所と、姉妹締結をしています。戊辰戦争とその後の開拓にて、大きな歴史的共通項を持つLOMであり、この友情が現在も続いています。歴史を過去のものとして、互いのアイデンティティを育む大切な交流であり、道県を超えた繋がりやのバトンを未来にも渡していく事で、互いのLOMと地域の矜持を高め合う事ができます。

また、青年会議所には県内や東北、全国、世界にまで繋がる出向の機会があります。出向での出会いは未来の可能性を大きく広げる機会です。私自身、これまで多くの会員と出会い、メンターに出会い、仕事生まれ、外を知る事で会津を知る事が出来ました。様々な交流を持ち、考えに触れ、各地域の可能性を掛け合わせることで新たな価値は生まれます。変化の激しいこれからの時代を生きるためには、出向は絶好の機会となります。

#### 【最後に】

人口ボーナス期が終わり、人口オーナス期に入ると様々な悪循環が生まれました。担い手の減少、マーケットの減少、人口流出など。一つの要素を改善しても悪循環を断ち切る事は難しいです。好循環を生むには、大きな負の連鎖とは別な場所でスタートを切る、すなわち「自分達で生きていく」事が重要だと捉え、所信を書かせて頂きました。

本年度、スローガンは「地域を支えて地域に頼らず」です。福沢諭吉の「国を支えて国に頼らず」をローカルに置き換えた言葉です。令和の時代においても、真理であると思います。人口オーナス期を乗り切るためのキーワードである、国際化、効率化、イノベーションなど、地方にとって「言うは易く行うは難し」な言葉が並びます。決して一人の力で成しえられるものではありません。

だからこそ、志を同じくした若者が交流を深める事は、その地域にとってその後何十年に続く財産になると考えます。30代は下積み時代、青年会議所を卒業してからこそ、今まで蒔いてきた種が身を結び、仲間たちと地域を支える。地域の資源を活かし、可能性を伸ばし、次の世代へ会津を繋ぐ。それが2025年現在、会津青年会議所が取り組むべき姿勢であると考え、一年間取り組んで参ります。

### 【基本理念】

人の繋がりこそ未来を作る地域の力  
我々が率先して地域の可能性を広げよう

### 【スローガン】

地域を支えて地域に頼らず

#### <基本方針及び事業計画>

1. 会津青年会議所全体として取り組む事業
  - ・会員拡大
  - ・公益社団法人日本青年会議所及び東北地区協議会 福島ブロック協議会への積極的な参加、支援
  - ・姉妹青年会議所との交流
2. 会津青年会議所が委員会を通して取り組む事業
  - ・地域課題を学び会員の意識を醸成する事業
  - ・新入会員の参加意識を醸成する事業
3. 会津青年会議所が行政、他団体と協力して行う事業
  - ・会津絵ろうそくまつり
  - ・わんぱく相撲

#### <委員会構成>

1. 事務局
  - ・活動の発信と見える化の推進
  - ・会員拡大会議の運営
2. ひと・まち委員会
  - ・会津の魅力を向上させる事業
  - ・青少年の健全な育成を図る事業
3. 総務委員会
  - ・全会員への情報の共有、HP の運営
  - ・総務、広報、資料の取りまとめ
  - ・作業効率化の向上を図る事業

## 総務委員会

委員長	村崎 健一
副委員長	清水 広太
副委員長	大竹 史泰

〈スローガン〉

変化に適応し、新たな価値を創造する

### ■基本方針

近年、様々な分野において IT 技術が発展し浸透・定着してきています。人口減少に伴い個々が多岐にわたる役割を担うことが求められているこの現代社会において、私たちは生産性の向上と効率化の重要性を認識しています。この変化に適応するためには、テクノロジーを積極的に活用し繰り返し作業の効率化を図るなど、より価値の高い業務に集中できる環境を整備する必要があります。

これまで受け継がれてきた知識や技術は可能な限り DX 化することで、次世代に確実に継承する基盤を構築します。普段感じている疑問や問題点の改善を現実化するためには、全会員が新しい技術に対してオープンマインドで取り組む姿勢が必要です。

変化を受け入れ、新たな価値を創造するために、私たちは新しい技術に対し柔軟な姿勢を持ち常に解決策を探ることで、創造的な問題解決を促進し持続可能な組織を構築します。

### ■事業計画

〈例会〉

- (1) 総会（12月総会）
- (2) 新年会（1月例会）
- (3) 作業効率化の向上を図る事業（4月例会）
- (4) 総会（8月例会）
- (5) 納会（11月例会）

〈業務〉

- (1) 総務
  - ① 会員台帳・名簿・JC 手帳の作成
  - ② 管理全般（JC 会館、備品、各種資料、ホームページ、会員への情報の共有、新入会員への入会手続き業務）
  - ③ 総会の運営
  - ④ 各種会議の設営・セクレタリー及び議事録の作成
- (2) 広報部門
  - ① 広報誌「明日のために」1月作成・発行
  - ② ホームページ、その他各種媒体（SNS 等）を活用した情報の発信
  - ③ 各種事業における広報活動の支援

ひと・まち委員会

委員長 若林 信一

副委員長 添田 将

副委員長 中村 祥平

<スローガン>

会津の未来、資源と人が織り成す共育のシナジー

#### ■基本方針

本年ひと・まち委員会が考える明るい会津の未来とは、地域が活気づき、住まう人々が発生する問題点を地域住民や地域外の関係者と相互連携し、解決できる自走可能な姿です。

しかし、人口減少による担い手不足により、地域の文化並びに特色の伝承が困難になり次世代の担い手を育成することができないという悪循環を招いています。このような状況を打破するためには、地域の魅力を再度見直し地域住民が文化を再認識するとともに、その魅力をより効果的に外部に発信し会津の地域外にも人材を求める方法を検討する必要があります。

また、この検討を継続的におこなうためには、検証ができる次世代の担い手を育成することが必要であり、知識に偏重せず様々な考えに触れることができる学びの場を創造することが必要不可欠となります。

本年ひと・まち委員会では、自走可能な地域の創造に向けて、地域の魅力を発見・発信し、人材育成を進めることによって相乗効果を生み出し、良い成果をもたらす基礎づくりに取り組んでまいります。

#### ■事業計画

- (1) 第26回会津絵ろうそくまつり（2月例会）
- (2) わんぱく相撲あいづ場所（5月例会）
- (3) 明るい未来のあいづを創る事業（9月例会）

## 2025年度 特別委員会

会員資格審議委員会		
	委員長	星 直範
	副委員長	村崎 健一
	委員	清水 広太
	委員	林 陵平
褒賞委員会		
	委員長	松本 和也
	副委員長	山口 大輔
	委員	星 直範
	委員	林 陵平
J C 会館管理委員会		
	委員長	松村 俊祐
	副委員長	林 陵平
	委員	高橋 汐紀
	委員	泰 一弘 (OB)
	委員	大里 正樹 (OB)
基本財産等管理委員会		
	委員長	山口 大輔
	副委員長	林 陵平
	委員	早尾 武三
	委員	中川 健一 (OB)
	委員	星 辰典 (OB)
75 周年実行委員会		
	委員長	山口 大輔
	副委員長	林 陵平
	委員	星 直範
	委員	松村 俊祐
	委員	村崎 健一
	委員	若林 信一

収入の部			2024年度	2025年度	差異	備	要	
大	中	目	決算	予算				
科	小	目						
事業活動収入	① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	227	226	-1		基本財産の受取利息	
		特定資産運用収入	19	21	2		特定資産の受取利息	
		② 入会金収入	390,000	650,000	260,000		#65,000×10人	
		④ 会費収入	正会員年会費収入	0	0	0		
			正会員年会費収入	2,375,000	2,125,000	-250,000		#125,000×17人
			新入会員年会費収入	240,000	600,000	360,000		#60,000×10人
			賛助会員年会費収入	0	0	0		賛助会員なし
			特別会員年会費収入	120,000	60,000	-60,000		#20,000×3人(卒業生)
		サポーター年会費収入	25,000	75,000	50,000		現在1名 新規2名	
		計	2,760,000	2,860,000	100,000			
	⑤ 事業収入	事業費繰入収入	0	0	0			
		登録料収入	524,340	75,000	9,000			
		わんぱく相撲登録料	14,000	15,000	1,000		500円×30人=合計15,000円	
		ひと・まち委員会	52,000	60,000	8,000		給付付体験登録料	
		総務事務局	0	0	0			
		四夜	0	0	0			
		広告費収入	0	0	0			
		販売売収入	0	0	0			
		業務委託収入	50,000	50,000	0		〇日会事務委託費 50,000円	
		家賃・会議室料収入	0	0	0			
雑収入	0	0	0					
計	116,000	125,000	9,000					
⑥ 補助金等収入	国庫補助金収入	0	0	0				
	地方公共団体補助金収入	373,130	0	-373,130				
	民間補助金収入	2,181,549	3,500,000	1,318,451		会津経済ろうそくまつり実行委員会(経済ろうそくまつり補助金として)		
	地方公共団体助成金収入	0	0	0				
民間助成金収入	0	0	0					
計	2,554,679	3,500,000	945,321					
⑦ 寄付金収入	寄付金収入	50,000	500,000	450,000				
	募金収入	0	0	0				
計	50,000	500,000	450,000					
⑧ 雑収入	受取利息収入	71	0	-71				
	その他雑収入	370	-	-370		自動販売機		
	計	441	0	-441				
⑨ 他会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	0	0	0				
	特別会計からの繰入金収入	0	0	0				
	基金会計からの繰入金収入	0	0	0				
事業活動収入計		5,871,366	7,635,247	1,763,881				

支出の部			2024年度	2025年度	差異	備	要
大	中	目	決算	予算			
科	小	目					
事業活動支出	① 事業費支出	< 四夜 >	0	0	0		7月例会
			0	0	0		10月例会
		小計	0	0	0		
		< 総務委員会 >	149,080	150,000	920		1月例会(断年会)
			13,830	50,000	36,170		4月例会(会員向け事業)
			13,200	50,000	36,800		11月例会(納金)
		小計	176,110	250,000	73,890		
		< ひとまち委員会 >	2,233,549	3,500,000	1,266,451		2月例会(経済ろうそくまつり)
			219,847	250,000	30,153		5月例会(わんぱく相撲)
			0	100,000	0		9月例会(未来をつくる事業)
	小計	2,453,396	3,850,000	1,396,604			
	< 事務局 >	70,880	0	-70,880		3月例会	
		0	0	0		5月例会	
		447,901	0	-447,901		9月例会	
	小計	518,781	0	-518,781			
	委員会運営費支出	0	0	0			
	事業予備費支出	0	0	0			
	合計	3,148,287	4,100,000	951,713			
	② 管理費支出	給料手当	660,555	738,000	57,405		事務局員費(144日・基本給・残業・交通費等)
		退職給付費用	0	0	0		
福利厚生費		0	0	0		労働保険料	
会議費		0	0	0			
旅費交通費		0	185,610	185,610		電話電報代・年賀状・FAX代・切手代・PC等	
通信運搬費		212,062	250,000	37,938			
減価償却費		277,518	277,518	0			
消耗什器備品費		0	0	0			
酒類雑費		36,923	174,244	137,321		PC・プリンター・用紙等	
雑費		0	0	0			
印刷製本費		206,800	240,000	33,200		加入しんぶん・会員手帳・名刺	
燃料費		26,249	46,574	20,325		灯油代	
光熱水料費		252,810	320,000	67,190		電気・ガス・水道代	
賃借料		427,755	378,191	-49,564		地代、AED材料	
保険料		47,900	47,900	0		火災保険料	
雑費		0	0	0			
雑税		0	0	0		登記料・収入印紙代	
渉外費	93,504	90,000	-3,504		わんぱく・審判・祝電・御祝・協賛		
業務委託費	125,400	130,000	4,600		IT・管理費等・ALSOK		
法務費	77,000	50,000	-27,000		一般広告代		
記念品費	0	0	0				
雑費	115,958	121,673	5,715		振込振替手数料・新聞代・初穂料		
管理・運営予備費	0	0	0		新入会員関連		
計	2,580,474	3,049,710	469,236				
③ 負担金	支払い・協賛負担金	0	0	0			
	JCI負担金	46,956	38,012	-8,944		#2,236×17人	
	日本JCI負担金	30,000	30,000	0		基本金30,000(50人以下予定のため)	
	日本JCI付加金	105,000	85,000	-20,000		付加金#5,000×17人	
	日本JCI出向者負担金	0	20,000	20,000		基本金#20,000×1	
	東北地区協議会負担金	5,000	5,000	0		基本金5,000	
	東北地区協議会付加金	31,500	25,500	-6,000		付加金#1,500×17人	
	東北地区協議会出向者負担金	0	20,000	20,000		負担金#10,000×1人	
	福島ブロック協議会負担金	35,000	35,000	0		基本金35,000	
	福島ブロック協議会付加金	105,000	85,000	-20,000		付加金#5,000×17人	
国際協力基金	38,325	31,025	-7,300		#1825×17人		
国際誌購読料	63,000	51,000	-12,000		We Believe購読料#3,000×17人		
計	459,781	425,537	-34,244				
④ 他会計への繰入金支出	一般会計への繰入金支出	0	0	0			
	特別会計への繰入金支出	0	0	0			
	基金会計への繰入金支出	120,000	60,000	-60,000		#20,000×3人	
計	120,000	60,000	-60,000				
⑤ その他支出		0	0	0			
	計	0	0	0			
事業活動支出計		6,308,542	7,635,247	1,326,705			
事業活動収支差額		-437,176	0	437,176			





科目名	公益目的事業等会計					公益事業等会計					法人会計	内 補 取 引 消 去	合 計	
	公① 地域の発展に 寄与する事業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益目 的の事業	共通	小計	他① 委員の購買向 上事業	他② 会員間並びに 団員等との交 渉事業	他③ 委員の 旅六交 渉名事業	共通	小計				
2. 経費削減の部														
(1) 経費削減														
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
債権譲渡益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電灯加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員有価証券売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費削減合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経費削減														
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
債権譲渡益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電灯加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員有価証券売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費削減合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰上計上経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有期経費処理経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当座一般経費処理経費	-343,818	-322,584	0	3,088,038	2,382,534	-28,844	-220,722	0	809,580	548,884	-2,872,318	0	80,000	0
一般経費処理経費	0	0	0	13,549,455	13,549,455	0	0	0	548,160	548,160	2,082,541	0	16,180,199	0
一般経費処理経費	-343,818	-322,584	0	16,637,493	16,931,789	-28,844	-220,722	0	1,357,740	1,097,044	-789,757	0	16,240,199	0
目録認定経費削減の部														
受益補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益員出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益者付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受益者付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員有価証券売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般経費処理への特許料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般経費処理への特許料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特許権定正経費処理経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特許権定正経費処理経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目録認定経費削減	-343,818	-322,584	0	16,637,493	16,931,789	-28,844	-220,722	0	1,357,740	1,097,044	-789,757	0	16,240,199	0

正味財源増減決算等要領内訳表  
公益事業会計内訳

科目名	1月期金				3月期金				12月期金			
	金額	増減	小計	内訳	金額	増減	小計	内訳	金額	増減	小計	内訳
一、財源増減要領内訳												
1. 財源増減												
2. 財源減減												
3. 財源増減												
4. 財源減減												
5. 財源増減												
6. 財源減減												
7. 財源増減												
8. 財源減減												
9. 財源増減												
10. 財源減減												
11. 財源増減												
12. 財源減減												
13. 財源増減												
14. 財源減減												
15. 財源増減												
16. 財源減減												
17. 財源増減												
18. 財源減減												
19. 財源増減												
20. 財源減減												
21. 財源増減												
22. 財源減減												
23. 財源増減												
24. 財源減減												
25. 財源増減												
26. 財源減減												
27. 財源増減												
28. 財源減減												
29. 財源増減												
30. 財源減減												
31. 財源増減												
32. 財源減減												
33. 財源増減												
34. 財源減減												
35. 財源増減												
36. 財源減減												
37. 財源増減												
38. 財源減減												
39. 財源増減												
40. 財源減減												
41. 財源増減												
42. 財源減減												
43. 財源増減												
44. 財源減減												
45. 財源増減												
46. 財源減減												
47. 財源増減												
48. 財源減減												
49. 財源増減												
50. 財源減減												
51. 財源増減												
52. 財源減減												
53. 財源増減												
54. 財源減減												
55. 財源増減												
56. 財源減減												
57. 財源増減												
58. 財源減減												
59. 財源増減												
60. 財源減減												
61. 財源増減												
62. 財源減減												
63. 財源増減												
64. 財源減減												
65. 財源増減												
66. 財源減減												
67. 財源増減												
68. 財源減減												
69. 財源増減												
70. 財源減減												
71. 財源増減												
72. 財源減減												
73. 財源増減												
74. 財源減減												
75. 財源増減												
76. 財源減減												
77. 財源増減												
78. 財源減減												
79. 財源増減												
80. 財源減減												
81. 財源増減												
82. 財源減減												
83. 財源増減												
84. 財源減減												
85. 財源増減												
86. 財源減減												
87. 財源増減												
88. 財源減減												
89. 財源増減												
90. 財源減減												
91. 財源増減												
92. 財源減減												
93. 財源増減												
94. 財源減減												
95. 財源増減												
96. 財源減減												
97. 財源増減												
98. 財源減減												
99. 財源増減												
100. 財源減減												

